

平成
25
年度

日田市埋蔵文化財年報

平成25年度（2013年度）

日田市埋蔵文化財年報



日田市教育委員会

2014 日田市教育委員会

発刊にあたって

平成25年度は史跡に関する大きな取り組みがありました。まず、国史跡『廣瀬淡窓墓』に旧宅が加えられ、『廣瀬淡窓旧宅及び墓』として追加指定を受けましたことから、県内各地を中心として展覧会を実施するなど、史跡の普及啓発に努めました。次に、国史跡『ガランドヤ古墳』の整備工事に着手し、古墳石室の保護躯体を建設しました。そのほか国史跡『小迫辻原遺跡』の公有化事業や国史跡『咸宜園跡』の東塾整備事業を実施しました。

民間開発・公共事業に伴う埋蔵文化財調査も数多く実施し、元宮遺跡で確認された古墳や出口遺跡の縄文後期の遺構、銭渕遺跡の大型建物など新たな発見が相次ぎました。小迫辻原遺跡では重要遺跡の確認調査が実施され、環濠の検出など貴重な成果を得ることができました。

このように多数の事業を実施いたしますなかで、この1年間日田市の埋蔵文化財調査及び普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

平成26年7月

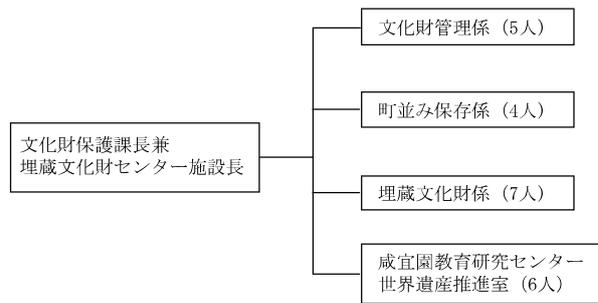
日田市教育庁文化財保護課課長 財津 俊一

例 言

組 織

1. 本書は、平成25年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターに保管・展示している。
3. 表紙写真は出口遺跡調査の空中写真（本文8P参照）、裏表紙は元宮遺跡調査の石室の写真である（本文12P参照）。
4. 本書の執筆はⅠ-（1）を若杉、Ⅰ-（2）を各担当、Ⅱを渡邊、Ⅲ（1）、（2）を諫山温子（H26年度担当）、Ⅲ（3）（4）（5）を渡邊が行った。Ⅰ・Ⅱには文責を末尾に記している。
5. 編集は、各担当の協力の下、渡邊が行った。

平成25年度の日田市教育庁文化財保護課の構成及び埋蔵文化財系の組織は以下の通りである。（平成26年3月現在）



《埋蔵文化財係》

埋蔵文化財係長 園田恭一郎 総括

専門員 武内 貴彦 普及啓発・庶務担当

主 査 華藤 善紹 史跡整備（庶務）担当

主 査 行時 桂子 民間開発（普及啓発）担当

主 査 若杉 竜太 事前審査・公共事業担当

主 査 渡邊 隆行 史跡整備・保存修理事業担当

主 任 上原 翔平 埋蔵文化財補助事業担当

目 次

発刊にあたって

I 平成25年度の埋蔵文化財調査事業 ……………	1
（1）平成25年度の埋蔵文化財調査の概要 ……	1
（2）発掘調査・確認調査の概要 ……………	6
II 資料紹介 ……………	17

III 平成25年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

（1）埋蔵文化財センター運営事業 ……………	21
（2）普及啓発事業 ……………	22
（3）埋蔵文化財の保存整備 ……………	26
（4）その他（資料掲載、貸出・閲覧・受領図書） ……	28

I 平成 25 年度の埋蔵文化財調査事業

(1) 平成 25 年度の埋蔵文化財調査の概要

平成 25 年度の発掘調査等の動向 (表 1～6)

平成 25 年度の発掘調査は 6 件実施し、民間開発関連 3 件、市公共事業関連 1 件、県公共事業関連 2 件であった。民間開発は宅地造成に先立つもの 2 件 (内、1 件は次年度継続)、店舗建設に先立つものが 1 件、市公共事業は重要遺跡確認に伴うものが 1 件、県公共事業 2 件はいずれも圃場整備に先立つものである。

民間開発・公共事業に伴い提出された埋蔵文化財の所在の有無についての事前照会は、計 125 件 (民間開発 104 件、市公共事業 16 件、県公共事業 5 件) であった (表 1)。試掘・確認および立会調査は 22 件 (民間開発 13 件、市公共事業 4 件、県公共事業 3 件、民間開発立会 1 件、公共事業立会 1 件) を実施した (表 4)。

事前審査の照会件数のうち、民間開発に伴うものは 104 件と前年度に比較して、25 件の大幅な減少となっている。この件数は平成 22 年度をピークに減少しており、景気動向を反映しているとみられる。なお、開発及び不動産鑑定等の事前問合せの件数は 165 件で、事前問合せ後、照会文書を提出したのは、17 件となっている。

次に照会の内訳をみていくと、公共事業に伴う事前照会件数は 21 件と前年度並みである。市公共事業では、小学校屋内運動場建替工事と放課後児童クラブ建設が年 1～2 件程度ではあるが、この数年みられる。また、小規模な公園整備も微増傾向にある。また、道路改良については、新たなものはなく、前年度からの継続事業のみであった。一方、県の公共事業に関しては、圃場整備に関するものであるが、大規模な工事は平成 27 年度を最後に減少する見通しとなっている。

民間開発については、例年通り宅地造成や個人住宅建設が多いものの、太陽光発電施設に関するものが、前年度より 1 件増加の 4 件である。また、鉄塔建設や店舗建設、福祉施設に関するものが、一定数みられる。特に太陽光発電施設に関しては、今後は遊休地の有効利用の観点などから増加が予想される上、大規模な造成工事を伴うことが多く、今後の動向に注視していく必要がある。

平成 25 年度の発掘調査の内容 (表 3・表 4・表 6)

日田市における近年の傾向として、古い時代よりも比較的新しい時代の調査例が増加しつつあったが、本年度は旧石器時代・縄文時代の調査事例もあった。

旧石器時代にかかる本調査はなかったもの、井川遺跡の予備調査において、後期旧石器時代 (暗色帯上層のローム層) の剥片が出土している。

縄文時代では、出口遺跡において後期中葉から後葉にかけての土坑などとともに多くの土器が出土している。

弥生時代では、会所宮遺跡 2 次調査で中期から後期にかけての集落が見つかった。

古墳時代では、小迫辻原遺跡で前期初頭の 1～3 号環濠の切り合い関係や延長方向・残存状況などが確認された。また、元宮遺跡の予備調査において、6 世紀後半の横穴式石室を主体部とする、径約 20 m の円墳が確認されている。

古代では、小迫辻原遺跡で 3×8 間以上の大型の掘立柱建物跡が検出され、これまでの調査で見つかった官衙関係施設の範囲が大幅に広がる可能性が確認できた。

中世では、君迫遺跡で 15～16 世紀と考えられる掘立柱建物跡が確認されたが、出土遺物の少なさから、一般集落とは異なった様相のものと考えられる。慈眼山遺跡 11 次調査で、溝・ピット・井戸など、15～16 世紀の遺構が確認された。小迫辻原遺跡では環濠居館の続きと考えられる溝が確認されている。さらに中世から近世にかけては、出口遺跡において、掘立柱建物跡が多数確認され、当該期における土地利用の状況が明らかとなった。

近世の調査では、史跡咸宜園跡において、心遠処復元整備工事に伴う立会調査を実施し、梅花鳥の下屋の基礎に利用したと考えられる栗石が確認された。

表1 埋蔵文化財の調査件数と調査面積の推移

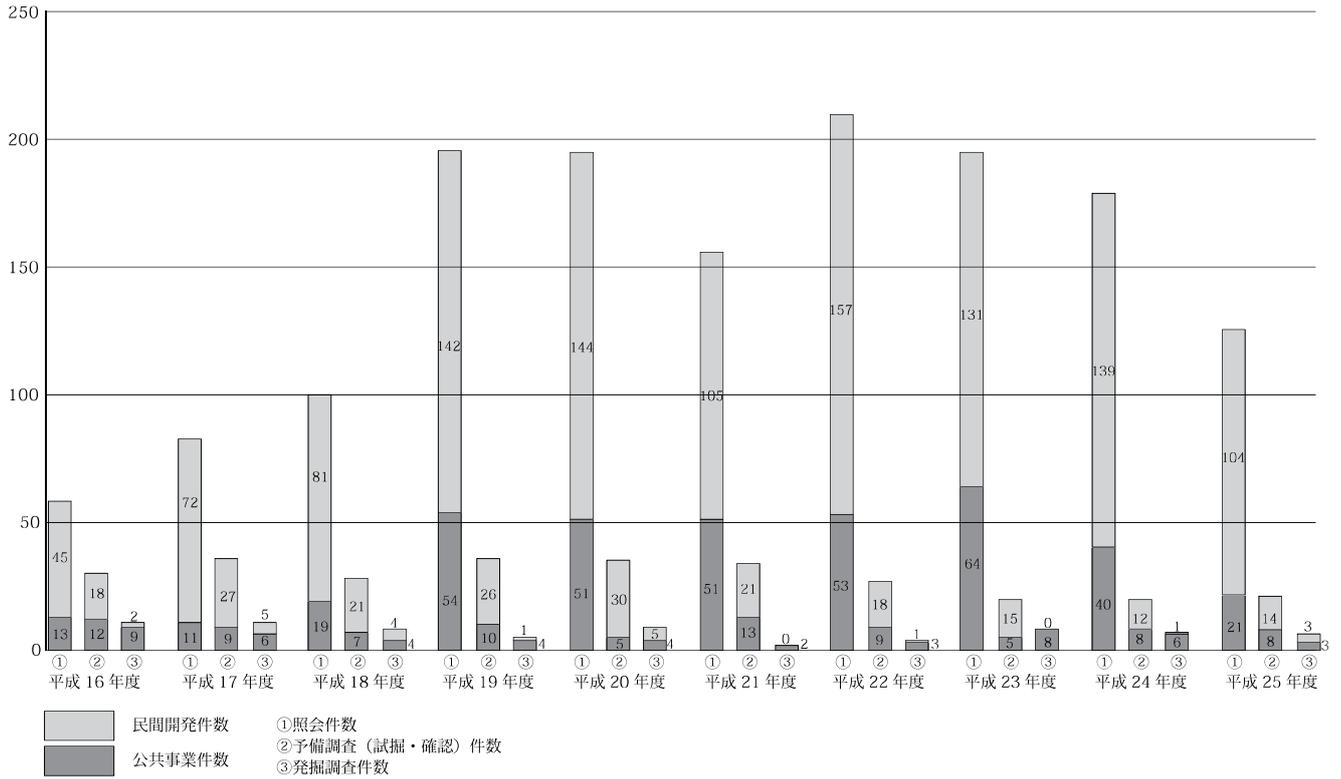
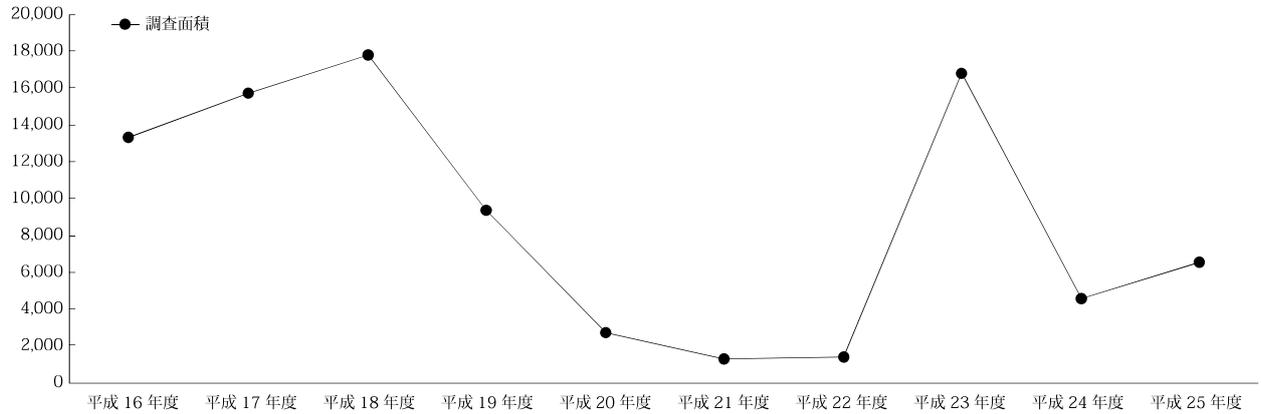


表2 調査面積・調査担当者推移



	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
調査面積	13,309	15,736	17,836	9,407	2,654	1,292	1,392	16,837	4,583	6,496
専門職員数	4	6	5	5	5	5	6	5	5	4
嘱託職員数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0

表3 平成25年度発掘調査一覧表

面積単位：㎡

番号	調査名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備考
1	小迫辻原遺跡 J6 区	大字小迫字辻原	公共	遺跡内容確認	-	1,264	0427 ~ 1013	原因者	渡邊	
2	出口遺跡	天瀬町出口	公共	圃場整備	60,000	3,632	0515 ~ 1002	原因者	上原	
3	君迫遺跡	大字二串字岩ノ下	公共	圃場整備	76,000	580	0819 ~ 1112	原因者	若杉	
4	慈眼山遺跡 11 次	城町 2 丁目	民間	宅地造成	1,759	88	1007 ~ 1018	原因者	行時	
5	会所宮遺跡 2 次	大字田島字中ノ手	民間	店舗建設	3,719	672	0116 ~ 0310	原因者	行時	
6	銭淵遺跡	大字高瀬字塚脇	民間	宅地造成	1,911	260	0205 ~ 0325	原因者	若杉	次年度継続

表4 平成25年度確認・立会調査一覧

番号	遺跡名	区分	調査場所	事業目的	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	時代	遺構	遺物	申請番号	処置
7	咸宜園跡	公共	南豆田字中城	史跡整備	—	5	0204	確認	近世	礎石栗石	—	—	埋土保存
8	元宮遺跡	民間	大字求来里字塚脇 294、295	畑地改良	1,360	195	5/14～8/29	確認	古墳	古墳(石室・周溝)・ビット	須恵器・土師器・陶磁器・石器・人骨片	2013014	埋土保存
9	日田条里遺跡	民間	吹上町 1334-1	個人住宅新築	294	4	2/14	立会	中世	ビット	なし	2013069	工事実施
10	井川遺跡	民間	天瀬町出口字井川 3813-2	携帯無線基地局建設	130	7	12/13、1/16	確認	旧石器	なし	石器	2012009	工事実施
11	永山布政所跡	民間	丸山 1丁目 9-4、9-50	集合住宅建設	373	11	11/28	確認	近世	溝状遺構・土坑・ビット	なし	2013050	埋土保存
12	慈眼山遺跡	民間	城町 2丁目 590-1	個人住宅新築	554	20	7/12	確認	中世	整地層か?	土師質土器	2013026	工事実施
13	平島遺跡	公共	大字東有田 2687-1	屋内運動場新增築	780	37	7/3	確認	不明	ビット	なし	2012613	工事実施
14	徳瀬遺跡	民間	大字徳瀬 299-1、300-1	宅地造成	2,645	33	7/9	確認	古墳以降	なし	土師器	2013018	工事実施
15	瀬古遺跡	民間	大山町東大山字山ノ下 2236	教会建設	1,613	20	8/2	確認	—	なし	なし	2013029	工事実施
16	鍛冶屋廻り遺跡	民間	大字小迫字平山ノ下 247-1、248-3	公民館建設	205	10	8/8	確認	古墳、中世	なし	土師器・青磁	2013036	工事実施
17	入籠遺跡	民間	竹田新町 621	店舗建設	1,856	13	11/13	確認	—	なし	なし	2013007	工事実施
18	尾園遺跡	公共	大字石井 1180-3	下水道管渠布設	689	14	10/10	確認	古墳	なし	土師器	2012621	工事実施
19	元宮遺跡	民間	大字求来里字堂園 605-1 ほか 5筆	老人ホーム増築	2,457	81	10/17～21	確認	弥生、古墳	墓・土坑・ビット	土師器	2013049	H26 本調査
20	日田条里遺跡	公共	中城町 81 ほか	都市計画道路改築	854	12	11/20	確認	—	なし	なし	2012615	工事実施
21	出口遺跡ほか	公共	天瀬町出口	圃場整備	60,000	256	11/20～12/6	試掘確認	—	なし	陶磁器ほか	2012901	工事実施
22	会所宮遺跡	民間	大字田島字中ノ手 488-1 ほか 5筆	店舗新築	3,719	58	11/8	確認	弥生	土坑・ビット	弥生土器	2013052	H25 本調査
23	銭淵遺跡	民間	大字高瀬字塚脇 237-1 ほか 5筆	宅地造成	1,911	103	12/17～12/24	確認	古代、中世	竪穴建物跡・土坑・ビット	土師器・須恵器	2013068	H25 本調査
24	佐寺原遺跡	民間	大字北豆田字御料原 822	携帯無線基地局建設	137	31	12/25	確認	弥生	土坑・ビット	弥生土器	2013076	H26 本調査
25	鶴城古田地区	公共	大字鶴河内	圃場整備	15,000	11	12/4	試掘	—	なし	なし	2013901	工事実施
26	元宮遺跡	民間	大字求来里字元宮 503-1	倉庫用地造成	1,346	52	1/10	確認	中世	溝状遺構・土坑・ビット	土師質土器・陶磁器・石器	2013051	埋土保存
27	山ノ神(二串)遺跡	公共	大字二串	圃場整備	54,000	870	2/17～3/10	確認	弥生、中世	溝状遺構・ビット	弥生土器・土師器	2013902	H26 本調査
28	上井手遺跡隣接地	公共	大字日高 940	屋内運動場新增築	828	4	2/5	試掘	—	なし	なし	2013608	次年度再実施

表5 照会一覧表

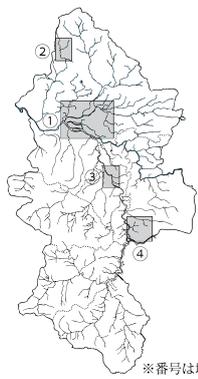
申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	周辺遺跡名	判断結果
3/28	2013001	民間	集合住宅建設	大字三和字郷四郎 994-1 ほか 3筆	1774.77	三和教田	工事実施
3/29	2013002	民間	個人住宅建設	中城町 44、47-1	289	城下町	工事実施
4/1	2013003	民間	個人住宅建設	大字友田字上友田 1137-1 ほか 2筆	873.61	—	工事実施
4/4	2013601	公共	防火水槽設置	大字山田	25.20	—	工事実施
4/4	2013602	公共	防火水槽設置	天瀬町合瀬	25.20	—	工事実施
4/9	2013004	民間	個人住宅建設	大字求来里字元宮 440	152	元宮	工事実施
4/9	2013005	民間	店舗兼個人住宅建設	中本町 1029-9,1037-1	263.57	城下町	工事実施
4/12	2013006	民間	個人住宅建設	大字求来里 1332-7	62.10	馬形	工事実施
4/12	2013007	民間	店舗建設	竹田新町 621	1856.38	入籠	H25 予備調査
4/17	2013008	民間	グラウンドゴルフ場用地造成	大字西有田字西ノ前 1286-1	1137.68	峰崎	工事実施
4/18	2013009	民間	車庫増築	大字日高字牧原 2432-3 ほか 8筆	3331.59	牧原	工事実施
4/19	2013010	民間	清岸寺分譲地造成	大字渡里字熊取 121-4,121-5	2,740	—	工事実施
4/19	2013011	民間	個人住宅建設	大字渡里字山キワ 201-2	75.87	—	工事実施
4/22	2013603	公共	庁舎建設	大字渡里字下瀬井出 111-1	7570.11	—	工事実施
5/1	2013012	民間	個人住宅建設	玉川 3-625-2	128.16	日田条里	工事実施
5/9	2013013	民間	アパート建設	大字渡里字中川原 1383-1 ほか	1,140	日田条里	工事実施
5/9	2013014	民間	畑地改良	大字求来里字塚脇 294,295	1,300	元宮	H25 予備調査
5/10	2013015	民間	アパート建設	大字日高字宮ノ前 24-15,24-16	514	—	工事実施
5/15	2013016	民間	宅地造成	城町 2丁目 927-1 の一部ほか 3筆	1758.97	慈眼山	H25 発掘調査
5/15	2013604	公共	公園トイレ改築	丸山 2丁目 2-1 地先	16.80	永山城跡	H25 予備調査
5/21	2013017	民間	個人住宅建設	上城内町 943-6	75.00	慈眼山	工事実施
5/22	2013018	民間	分譲住宅地造成	大字友田字徳瀬 299-1,300-1	2644.59	徳瀬	H25 予備調査
5/22	2013019	民間	個人住宅建設	大字石井 659-1	49.50	尾園	工事実施
5/24	2013020	民間	分譲住宅地造成	大字友田字徳瀬 355-1	1,230	徳瀬	工事実施
5/27	2013021	民間	福祉施設増築	亀山町 120-1 ほか 2筆	9.99	城下町	工事実施
6/3	2013022	民間	老人ホーム新築	大字渡里字熊取 121 ほか 12筆	2480.89	—	工事実施
6/4	2013023	民間	宅地造成	上城内町 1032-1 ほか 4筆	1239.15	慈眼山	工事実施
6/10	2013024	民間	残土処理場造成	大山町東大山字下小谷 1823-1	67,533	—	工事実施
6/12	2013025	民間	造成工事	丸山 1丁目 15-2	1,150	城下町	工事実施
6/20	2013026	民間	個人住宅建設	上城内町 590-1	553.88	慈眼山	H25 予備調査
6/21	2013027	民間	個人住宅建設	城町 1丁目 421-2	299.54	—	工事実施

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	周辺遺跡名	判断結果
6/26	2013028	民間	ビル新築	本町 2,3,4	461.09	—	工事实施
6/28	2013029	民間	教会新築	大山町東大山字山ノ下 2236	1,613	瀬古	工事实施
6/28	2013030	民間	集会所建設	城町 1丁目 416-6	132.89	日田条里	工事实施
7/8	2013031	民間	個人住宅建設	大字石井五反田 687-1	292.03	尾園	工事实施
7/8	2013032	民間	個人住宅建設	大字三和字深町 2539 他	232.87	三和教田	工事实施
7/9	2013033	民間	展示場増築	若宮町 420-1	1922.59	—	工事实施
7/18	2013034	民間	PHS 基地局建設	大字上野 526-3	0.64	上野	工事实施
7/18	2013035	民間	PHS 基地局建設	大字庄手 (亀川町) 931-2	0.64	—	工事实施
7/18	2013036	民間	公民館建設	大字小迫字平山ノ下 247-1,248-3	204.72	鍛冶屋廻り	H25 予備調査
7/24	2013037	民間	個人住宅建設	丸山 1丁目 9-49	119.03	永山布政所跡	工事实施
8/1	2013038	民間	個人住宅建設	丸の内町 580-7	209.84	一丁田	工事实施
8/6	2013039	民間	携帯基地局建設	大字鶴河内字大境 4397-7	150	大肥下河内	工事实施
8/9	2013040	民間	集合住宅建設	大字三和字天神田 294-1,294-3	2,346	—	工事实施
8/9	2013041	民間	法要式場新築	大字十二町字前田 545-3、545-1 の一部	200.94	日田条里	工事实施
8/22	2013042	民間	太陽光発電ソーラーパネル設置	大字三和字割石 2202-7 ほか 3 筆	4,550	—	工事实施
8/22	2013605	公共	下水道支線管渠布設	大字有田 273-8 地先～ 340-6 地先	253.28	水目横六群	工事实施
8/27	2013043	民間	集合住宅建設	上城内町 1028-3,1033-1	1,093	慈眼山	工事实施
9/3	2013045	民間	集合住宅新築	大字友田字東土井ノ内 1229-1	929	岳林寺	工事实施
9/4	2013044	民間	店舗併用住宅新築	吹上町 1196-1	118.17	日田条里	工事实施
9/9	2013046	民間	個人住宅建設	大字高瀬字塚脇 253-2 ほか 2 筆、253-1 の一部	74.49	銭淵	工事实施
9/12	2013047	民間	木材乾燥場造成	大字高瀬字温水 945 ほか 3 筆	2,977	高瀬条里	工事实施
9/13	2013048	民間	個人住宅建設	大字三和字長者町 950-2	289.61	三和教田	工事实施
9/18	2013049	民間	老人ホーム増築	大字求来里字堂園 605-1 ほか 5 筆	178	元宮	H25 予備調査
9/24	2013050	民間	集合住宅建設	丸山 1丁目 9-49-50	373.43	永山布政所跡	H25 予備調査
9/28	2013053	民間	店舗新築	大字三和字喜四郎 156-4 ほか 12 筆	6,523	日田条里	工事实施
9/30	2013051	民間	倉庫用地造成	大字求来里字元宮 503-1	1,346.37	元宮	H25 予備調査
10/1	2013052	民間	店舗新築	大字田島字中ノ手 488-1 ほか 5 筆	3718.53	会所宮	H25 予備調査
10/4	2013054	民間	店舗用地造成	田島 2丁目 262 ほか 3 筆	1,237	日田条里	H26 予備調査予定
10/4	2013055	民間	個人住宅建設	大字友田字徳瀬 261 ほか 2 筆	370.44	徳瀬	工事实施
10/11	2013058	民間	病院管理棟新築	大字十二町字岸高 597-7	1,342.7	—	工事实施
10/15	2013057	民間	農業用倉庫増築	大字求来里字元宮 436	67.68	元宮	工事实施
10/15	2013059	民間	集合住宅新築	田島本町 157-1,157-2	178.33	日田条里	工事实施
10/15	2013060	民間	工場新築	大字花月 1407 ほか 4 筆	481.32	堂ノ前	工事实施
10/17	2013061	民間	残土処分場建設	大字日高字恵良 2593-1	25,362	—	工事实施
10/17	2013901	公共	圃場整備	大字鶴河内	15,000	—	H25 予備調査
10/23	2013062	民間	個人住宅・倉庫新築	大字十二町字花ノ木 535-14	148.17	日田条里	工事实施
10/28	2013063	民間	個人住宅・駐車場建設	丸山 2丁目 1148-3	1,103	日田条里	工事实施
10/28	2013064	民間	個人住宅	大字十二町字花ノ木 535-11	185.26	日田条里	工事实施
10/29	2013607	公共	消防センター建設	天瀬町女子畑 1296-2	22.44	—	工事实施
10/31	2013609	公共	下水道本管布設	上手町	807	日田条里遺跡	工事实施
10/31	2013610	公共	下水道本管布設	北友田 3丁目	914	一部、三郎丸遺跡	工事实施
10/31	2013611	公共	下水道本管布設	朝日町	928.7	一部、尾部田遺跡	工事实施
10/31	2013612	公共	下水道本管布設	石井 3丁目・内河町	406	尾園遺跡 長者原遺跡	工事实施
10/31	2013613	公共	下水道本管布設	水日町・中尾町	835	—	工事实施
11/1	2013065	民間	仮店舗新築	本町 619	53.66	入籠	工事实施
11/1	2013066	民間	駐車場用地造成	大字渡里字佐屋ノ元 15-1	1,106.41	—	工事实施
11/1	2013615	公共	公園整備	若宮町 1233-4 ほか	21,000	—	工事实施
11/1	2013616	公共	公園整備	城町 1丁目 305-1	16.8	城下町遺跡	H26 予備調査予定
11/1	2013617	公共	公園整備	大字求来里 1526-1	未定	町ノ坪遺跡	H26 予備調査予定
11/5	2013608	公共	屋内運動場増設改築	大字日高 975(下井手町 940)	827.67	—	H25 予備調査及び H26 予備調査予定
11/8	2013606	公共	放課後児童クラブ建設	大字三和	未定	三和教田遺跡	H26 予備調査予定
11/12	2013902	公共	圃場整備	大字二串	78,000	二串	H25 予備調査
11/13	2013067	民間	個人住宅新築	大字有田字財津畑 1103-1	483.19	尾漕	工事实施
11/13	2013068	民間	宅地造成	大字高瀬字塚脇 237-1 ほか 5 筆	1,910.84	銭淵	H25 予備調査
11/13	2013069	民間	個人住宅・車庫新築	吹上町 1334-1	293.63	日田条里	H25 予備調査
11/14	2013070	民間	福祉施設増築	大字三和字坂の辻 1583	59.32	谷ノ久保	工事实施
11/14	2013071	民間	宅地造成	大字三和字小又 813-1	936.65	三和教田	工事实施
11/14	2013614	公共	文化施設	上城内町 391-1	未定	慈眼山遺跡	H26 予備調査予定
11/15	2013072	民間	事務室・作業所新築	若宮町 1185-25	160.40	—	工事实施
11/20	2013073	民間	宅地造成	大字渡里字島ノ本 1049-2,1051-1	2,677.97	—	工事实施
11/20	2013074	民間	車庫新築	大字日高字溝口 1115-1	35.21	—	工事实施
11/20	2013076	民間	携帯電話無線基地局	大字北豆田字御料原 822	136.76	佐寺原	H25 予備調査
11/22	2013075	民間	集合住宅新築	田島一丁目 516	439	—	工事实施
11/26	2013078	民間	個人住宅新築	大字渡里字熊取 133-3,131-4	107.39	—	工事实施
11/27	2013077	民間	個人住宅増築	大字友田字長洲 586-10	221.13	—	工事实施
12/1	2013079	民間	集合住宅新築	大字十二町字前川 250-2	740	—	工事实施
12/9	2013080	民間	集合住宅新築	大字求来里字塚脇 250,623-1 の一部	1,500	—	工事实施
12/16	2013081	民間	PHS 基地局建設	大字小迫 (朝日ヶ丘) 576-56	0.64	朝日ヶ丘	工事实施
12/16	2013082	民間	個人住宅新築	大字有田字馬形 947-24	260.80	馬形	工事实施
12/20	2013083	民間	個人住宅新築	大字日高字宮ノ前 29-5	192.11	—	工事实施
12/24	2013084	民間	店舗新築	大字竹田字上深 396-3,400	1,863.15	—	工事实施
12/26	2013085	民間	集合住宅新築	大字北豆田 1800-1 の一部ほか 2 筆	831.12	—	工事实施
1/17	2013086	民間	携帯電話無線基地局建設	大字鶴河内字堂園 3559-1	2.25	大肥下河内	工事实施
1/17	2013090	民間	個人住宅新築	大字北豆田三反畑 1470-6	88.84	赤迫	工事实施
1/21	2013087	民間	個人住宅新築	大字十二町字花ノ木 536-16	67.51	日田条里	工事实施
1/21	2013088	民間	個人住宅新築	大字渡里字熊取 121-22	276	—	工事实施
1/22	2013089	民間	歯科新築	大字三和字官泰 988-1 ほか 1 筆	1027	三和教田	工事实施
1/24	2013903	公共	復旧治山	大山町東大山	流路工 50m 運搬道 200m	中間	工事实施
1/25	2013904	公共	圃場整備	大字鶴河内	29,000	—	H26 予備調査予定
1/26	2013905	公共	圃場整備	天瀬町出口	50,000	—	H26 予備調査予定
1/28	2013091	民間	集合住宅新築	上城内町 1028-1	682.78	慈眼山	工事实施
1/29	2013093	民間	位置指定道路建設	大字石井字崩ノ園 439-1	441	—	工事实施
2/4	2013092	民間	太陽光発電ソーラーパネル設置	大字日高 2687-4 ほか 30 筆	未定	—	工事实施

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	周知遺跡名	判断結果
2/6	2013094	民間	資材置場造成・太陽光発電設置	大字内河野字馬捨場 59.60-3	1226	長者原	工事実施
2/10	2013095	民間	個人住宅新築	大字日高字恵良堂 1208-1	121.48	—	工事実施
2/13	2013096	民間	個人住宅新築	龜山町 764-20	132.52	—	工事実施
2/14	2013097	民間	ガレージ新築	大字日高字占金 1751-53	163	—	工事実施
2/27	2013098	民間	太陽光発電設備設置	大字日高字東寺 281-2 ほか 11 筆	5490	—	工事実施
3/4	2013099	民間	携帯電話基地局建設	大字三和字日ノ本 2708-3	10.50	塚原	工事実施
3/6	2013100	民間	個人住宅新築	上城内町 1032-12	286.98	慈眼山	工事実施
3/14	2013101	民間	個人住宅新築	大字日高字鶴遊釣 3010-10.1	486.45	—	工事実施
3/18	2013102	民間	建物建設	大字小野字平石 9-1	42.46	—	工事実施
3/18	2013103	民間	福祉施設新築	大字庄手字村前 178-1 ほか 5 筆	41.97	村前	H26 予備調査予定
3/19	2013104	民間	病院建設	大字竹田字上深 395-1 ほか	2986.93	柳ノ本	H26 予備調査予定



日田市中心市街地図① (1/40,000)



日田市全域図

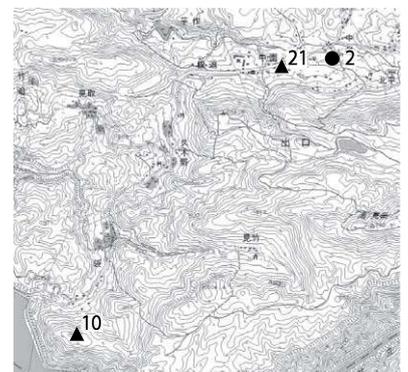
※番号は地図に対応



鶴城町周辺図② (1/60,000)



大山町周辺図③ (1/60,000)



出口周辺図④ (1/60,000)

平成 25 年度 発掘調査位置図

(2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 小迫辻原遺跡 J6 区

- 重要遺跡確認に伴う発掘調査 -

小迫辻原遺跡は日田盆地北部の通称辻原と呼ばれる台地上に位置している。弥生時代後期後半から古墳時代前期前半頃の3つの環濠集落や2条の南北溝、3基の方形環濠建物などの遺構が確認される国指定史跡である。保存管理計画に基づき、約8.2haにも及ぶ広大な敷地の公有化を図っており、この公有化完了地より随時、整備の基礎的なデータを得るための発掘調査を実施する計画である。平成25年度はこの発掘調査の2年目にあたる。

J6区はビニールハウス等の農業関連施設が所在していたことから、これまで調査を行うことが出来なかった場所である。周辺調査から、1～3号環濠の切り合い関係や規模等を明らかに出来る箇所であると予測され、公有化を機に、表面遺構検出を基本（国史跡であるため）とした確認調査を実施した。調査区は南北約62m、東西約25m、面積約1,264㎡を測り、J2区の拡張部と一部重複する。地形は調査区北側が最も高く、南側に向かって緩やかに下っており、遺構検出面は北側で現地地表下約15cm、南側で約50cmと比較的浅く、地表面は赤褐色土と黄褐色土の粘質土と黄色砂質土で、部分的に暗黄褐色土の堆積層が見られた。遺構検出時に押型文土器や石器類が出土しており、この堆積層が縄文期の包含層である可能性が考えられる。遺構の残りが良く、重複が複雑なため検出は困難を極め、古墳期の竪穴建物9軒以上、環濠3条、古代の大型建物1棟、中世の溝（環溝）4条を検出し、当初の予想通り確認された3条の環濠は、ほぼ想定される位置と範囲に収まっていた。

1・3号環濠は切り合い、1号環濠では張出し部が一部切れた状態で検出された。1号環濠は張出し部で幅約2.2m深さ約30cm、西端で幅約2.5m深さ約50cm程度を測り、3号環濠は幅約2.5m、深さは約1.4mを測る。切り合いや過去の調査から1⇒3号環濠の掘削順位が予測されたものの、1号環濠に関してはこれまでの調査と断面プランや深さが異なっており、今後のプラン検出と他調査区との接合関係の確認が必要と考えられる。2号環濠は幅約3～4m、深さ1.1mを図り、断面が緩やかな逆台形状を呈している。張出し等は特になく、これまでの想定に近い平面プランが確認できた。

そのほか、15・16世紀の方形環溝屋敷と考えられる1～4号溝や柱穴の掘方が一辺70cm程度を測り、3間×8間以上の規模の大型建物が検出された点は注目される。遺物の出土が見られないものの、切り合いと規模などから古代の建物と考えられ、K1区の古代掘立柱建物群との関係が期待される。

このように、今回の調査では期待される重要な調査成果が得られた。今後も引き続き史跡の性格を明らかにするために調査を継続する必要があるものと考えている。（渡邊）



遺跡位置図 (1/10,000)



G6区トレンチ全景



1・3号環濠トレンチ完掘状況



2号環濠トレンチ完掘状況

2. 出口遺跡

- 圃場整備に伴う発掘調査 -

出口遺跡は、日田市の南部、標高 400 m 前後に位置し、東は亀石山、南は湯見岳に囲まれており、北には亀石山付近の湧水を水源とし、大山川の支流である出口谷川が流れている。

今回の調査は、圃場整備事業に伴いおこなわれた。調査面積は 3,632 m² で谷川によって形成された谷部の緩斜面を中心に A～G 区の 7ヶ所に調査区を設定しておこなった。

調査は、対象地の耕作土を重機で除去し、遺構の確認される検出面まで掘削した後、人力で遺構の検出及び掘り下げをおこなった。出土遺物は縄文土器や陶磁器などがコンテナケースで 22 箱分出土している。

調査の結果、出口谷川の南側に設定した A 区は、出口谷川の支流が流れる南側に向かって傾斜しており、調査区南半分は、傾斜に沿って黒色土の遺物包含層が堆積している。その包含層からは大量の縄文土器が出土している。遺構は、土坑とピットがともに 1 基ずつ検出された。

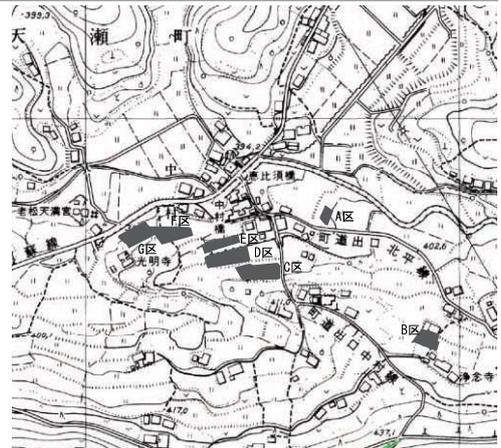
土坑は調査区の南西側で検出され、規模は南北約 2.0m × 東西 1.7m の方形で、断面は船底状を呈し、検出面までの深さは約 20 cm を測る。ピットは調査区南東側で検出され、直径約 0.4 m で深さは約 30 cm を測る。調査区の出土遺物から縄文後期中葉～後葉頃のものと考えられる。

それ以外の調査区 (B 区～G 区) においては、南から北に下る緩斜面上に掘立柱建物跡 10 棟、竪穴遺構 1 基が検出された。この他に各調査区から多数のピットが検出されている。これらの遺構は出土遺物から中世～近世にかけての時期のものと考えられる。

掘立柱建物跡は B、C、D、F、G 区で検出されており、これらの規模は、2 間 × 6 間 (建物面積: 105 m²) の比較的大きいものから 1 間 × 2 間 (建物面積: 15 m²) のものまであり、これらの建物跡が緩斜面上で確認されている。竪穴建物は、D 区で検出されており、規模は東西約 5.5 m × 南北 1.0 m + α で北側は調査区外に伸びているため全体の形状・規模は不明である。検出面からの深さは、約 50 cm 前後を測る。

また、C 区は日田から熊本に抜ける旧街道沿いにあり、その旧街道に近い調査区ではピットが集中して検出され、遠ざかると密度が低くなるという状況が確認された。

今回の調査によって、従来包蔵地として知られていた縄文時代の遺跡が調査地周辺で展開することを追認することが出来たことに加え、新たに近世以前の時期に調査地周辺では緩斜面を切り開いて土地を利用していた状況を確認することが出来た。(上原)



遺跡位置図 (1/10,000)



調査地空撮



掘立柱建物跡



出土した縄文土器

3. 君迫遺跡

- 圃場整備に伴う発掘調査 -

君迫遺跡は、日田盆地西部、君迫川・田代川流域の谷部や沖積地に広がる。調査区は君迫川によって形成された谷部の左岸、標高約95～96mの場所に位置する。

調査の結果、掘立柱建物跡4棟、溝状遺構3条、土坑1基と、ピットが多数確認された。また、ピットの内、建物の柱になり得そうなものもあったが、展開を確認することができなかった。

この他、調査区の中央付近では、調査地の西側から君迫川へ向かう谷の一部とみられる落ち込みが確認された。この付近にある掘立柱建物跡は、谷の内側と外側に柱穴が掘り込まれていることや土層の堆積状況から、人為的に埋め立てた後、建物の柱を掘り込んだ可能性も想定される。

これらの遺構の時期については、出土した土師質土器から15～16世紀のものとする。なお、出土量は非常に少なく、コンテナケース1箱に満たない。

今回の調査地は、川沿いの幅約50mの狭い谷部に位置するが、そうした狭隘な部分にも建物の存在が確認されたことや遺物の量が極端に少ないことなどから、一般的な集落とは異なった意味合いを持つ可能性も考えられ、今後の検討課題としたい。(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査地空撮

4. 慈眼山遺跡 11次

- 宅地造成に伴う発掘調査 -

慈眼山遺跡は日田盆地東部の大波羅丘陵の西側裾部に位置する。これまでに10次にわたる発掘調査が行われており、大友姓日田氏による統治が行われていた15～16世紀を中心とする武家の屋敷群などが確認されている。

今回の調査は5次調査の北にあたり、宅地造成範囲のうち位置指定道路部分を対象に行った。予備調査段階では遺物は出土するものの明らかな遺構を確認することができなかったが、本調査において現況水田面から約90cm下で溝状遺構2条・土坑3基・ピットが確認された。溝のうち1条は調査区を東西に横切り、調査区外へと続く。土坑のうち1基は溝状遺構に切られ、川原石の石組み様のものが確認でき、井戸の可能性が考えられたが、湧水のため掘り下げることができず、詳細や時期については不明である。ピットは調査区内で複数確認されたが、調査区狭小のため掘立柱建物となるかどうかまでは確認できなかった。また遺構検出面やそれより上の土層中には時期差のほとんどない土師質土器片等が多く含まれており、比較的短期間のうちに造成が繰り返されたという周辺でのこれまでの調査結果を追認することができた。

なお工事計画との照合の結果、遺構検出面が工事により損なわれる可能性がないことが判明したため、最小限の掘り下げに留め、真砂土により埋め戻した。(行時)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査地全景

5. 会所宮遺跡 2 次調査

- 店舗建設に伴う発掘調査 -

会所宮遺跡は日田盆地東部、元宮原台地の裾から西に向かって広がる沖積地に位置し、周辺の丘陵には薬師堂山古墳・鳥羽塚古墳・後山古墳・会所山（北向）古墳・法恩寺山古墳群などの古墳が存在している。これまでに都市計画道路建設に伴う発掘調査で弥生時代の集落や古代～中世の溝・柵列などが確認されている。

今回の調査は店舗建設範囲のうち、建物基礎によって遺構が損なわれる部分を中心に調査区を設定した。調査の結果、竪穴建物跡 1 軒・土坑 11 基・溝 2 条・ピット多数が確認された。

竪穴建物跡は柱穴のみの検出である。直径約 30～70 cm の柱穴が直径約 6.4 m にわたって不整円形にめぐり、柱穴からは少量ではあるが弥生土器片が出土している。同様の住居跡が 1 次調査 C 区でも 1 軒確認されており、弥生時代中期前半代の円形住居とされている。今回のこの竪穴建物跡も、詳細な時期は不明であるが、同時期のものである可能性が高い。

土坑 11 基のなかには直径 2 m、深さ 1 m を超えるような大きなものが見られ、炭化物等の出土はないものの、貯蔵穴の可能性が考えられる。

溝 2 条はともに標高の高い調査区東側から低い西側に向かっている。1 次調査 C 区においても東から西に向かう溝が複数確認されているが、溝の幅や形状から、今回検出された溝が 1 次調査 C 区のどの溝に対応するのか、検討が必要である。

なお、調査区以外の部分については、遺構の広がりや想定されるものの、工法上遺構が損なわれる可能性がないことが確認されたため、調査対象からは除外している。（行時）



遺跡位置図 (1/5,000)



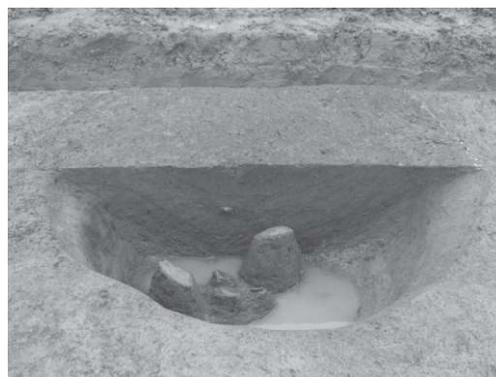
竪穴建物跡・溝検出状況 (北西から)



竪穴建物跡完掘状況 (西から)



遺跡全景 (真上から、画面上が北)



土坑掘り下げ状況 (西から)

6. 銭淵遺跡

- 宅地造成に伴う発掘調査 -

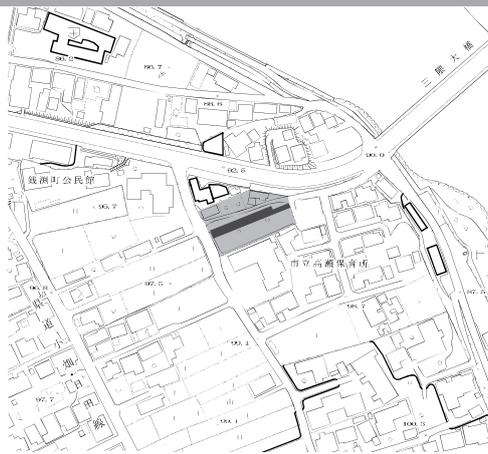
銭淵遺跡は、三隈川左岸の河岸段丘上に広がる遺跡で、今回の調査地は、三隈川を東から北にかけて望む段丘面の先端付近に位置している。

平成 25 年度の調査終了時点では、掘立柱建物跡 1 棟、竪穴建物跡 9 軒前後、土坑 5 基、ピット数十個が確認されている。このうち、掘立柱建物跡は、調査区内で 9 個の柱穴が確認され、その配置から桁行 6 間 + α 、梁行 3 間の規模を有すると推定される。主軸は、桁方向を南東 - 北西軸に取る。柱掘り方は、一辺約 0.8 ~ 1.2 m で平面形は隅丸方形を呈し、検出面からの深さは 80 ~ 90 cm を測る。また、柱穴底面には礎板石を据えているものがほとんどで、確認されていないものについても、抜かれた可能性がある。この建物の時期を明確に示す遺物は

出土していないものの、西側にある竪穴建物跡からは、7 世紀後半とみられる須恵器蓋が出土しており、それと同時期の可能性がある。調査は、次年度に継続して実施する予定である。(若杉)



掘立柱建物跡発掘状況



遺跡位置図 (1/5,000)



掘立柱建物跡柱穴土層堆積状況

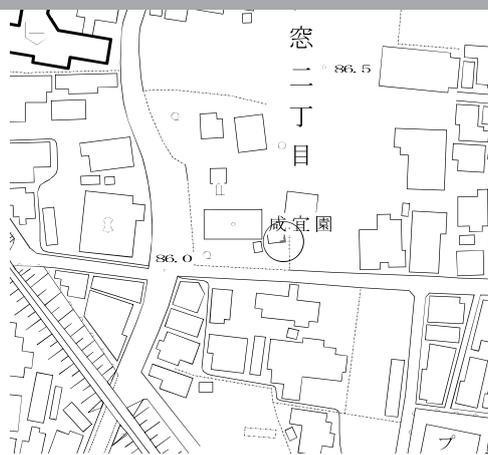
7. 史跡咸宜園跡

- 史跡整備に伴う立会調査 -

咸宜園は文化 14 年 (1817) に廣瀬淡窓が開いた私塾で明治に廃塾となるまでに全国 66 ヶ所から約 5000 人の門弟が学んでおり、昭和 7 年に国史跡の指定を受けている。

平成 4 年 ~ 19 年度にかけて史跡整備に伴う確認調査を実施し、平成 21 ~ 平成 25 年度までに史跡整備工事を実施しており、これらの工事に伴って各種立会調査等を実施している。

平成 25 年度には史跡外周を囲む塀等の整備と招隠洞及び梅花塙跡遺構表示工事が予定されていた。この表示工事において書蔵庫の礎石を一部撤去する必要があることから、この撤去立会を行うとともに、梅花塙の礎石確認作業を行った。その結果、礎石下部の一部で栗石の集中が見られた。栗石は書蔵庫礎石によって荒らされており、原位置を保っていない可能性もあるが、他所よりも集中してみられ、以前確認した礎石との心々距離が 1.8m を測ることから、従来所在した栗石を転用した可能性が高いと判断した。このことから、この礎石は梅花塙の北西隅の礎石であると推測し、以前より発見されていたさらに北西側の栗石集中箇所 (1.4 m 程西) は、柱間距離が異なることから、梅花塙の入口庇等の礎石と推測した。(渡邊)



遺跡位置図 (1/2,500)



調査地全景

8. 元宮遺跡

- 畑地改良に伴う予備調査 -

元宮遺跡は日田盆地東部、「元宮原」と呼ばれる台地上に存在し、昭和30年代の農業基盤整備事業の際に発見された遺跡で、弥生時代中期の段階には集落が営まれていたと考えられている。これまでに6次にわたる本調査が行われており、台地内の標高の高い部分で弥生～古墳時代の墓群（甕棺墓・石蓋土坑墓・石棺墓など）が確認されているが、現在主に畑地として利用されている低い部分は調査例がなく、詳細は不明であった。

今回の調査対象地はその低い部分の畑地の一部で、元宮原台地の北西端にあたり、現在の畑を切り下げる畑地改良が計画されたため予備調査をおこなったものである。

調査は畑地の中央を長軸方向に長大なトレンチを設定し重機と作業員により掘り下げを行ったところ、現耕作面直下で大きな石組みが検出された。表面での遺構検出に留めることを原則とし、内容確認のために一部掘り下げた結果、古墳の石室であることが判明し、墓道のほか周囲では周溝も確認された。

古墳は横穴式石室を持つ直径約20m（周溝含む）の円墳であったと考えられ、現状では上部のほとんどが以前の畑地造成により大きく削平されている。主体部はN-120°-Eに主軸をおく単室両袖の横穴式石室で、玄室全長は約4.2m、厚さ20～30cmほどの凝灰岩質の石材を奥壁に1枚、両側壁に1～2枚立ててやや胴張り状の平面プランをなしている。石室の現状は、玄室で基底部の1段目が残る程度で、床面からの残存高は約40cmである。奥壁は近年の耕作により石室内に倒れ込んでいる。石室の掘り方は長軸約4.4m、短軸約3.5m（奥壁側）を測る。石室内面には全体に赤色顔料が塗布されている。石室床面には石室と同様の材質の小礫が敷かれているようで、やはり赤色顔料が塗布されている。

石室からは北西方向に幅約1m、深さ約20cmの墓道がのびており、調査区内での検出長は約5mを測る。土層観察により、少なくとも1回以上の追葬が確認された。石室の周囲では幅約1.3～2.0m、深さ約40～50cmの周溝が検出されているが、墳丘については削平のため確認できなかった。

一部のみの掘り下げに留めたため、出土遺物は少ないが、墓道から長方形の3方向2段透かしのある須恵器高坏が出土しており、6世紀後半の古墳と考えられる。そのほか、石室床面付近より、微小な人骨片が出土している。墳丘や石室上部を失ってはいるものの、石室下部や周溝が良好良好な状態で残されていること、国史跡法恩寺山古墳群の近隣でもあり、これまで全く知られなかった古墳が新たに発見された重要性から、遺跡の現状保存について開発者と協議を行い、理解を得られたため、真砂土を用いて埋め戻している。（行時）



遺跡位置図 (1/5,000)



調査前近景 (北東から)



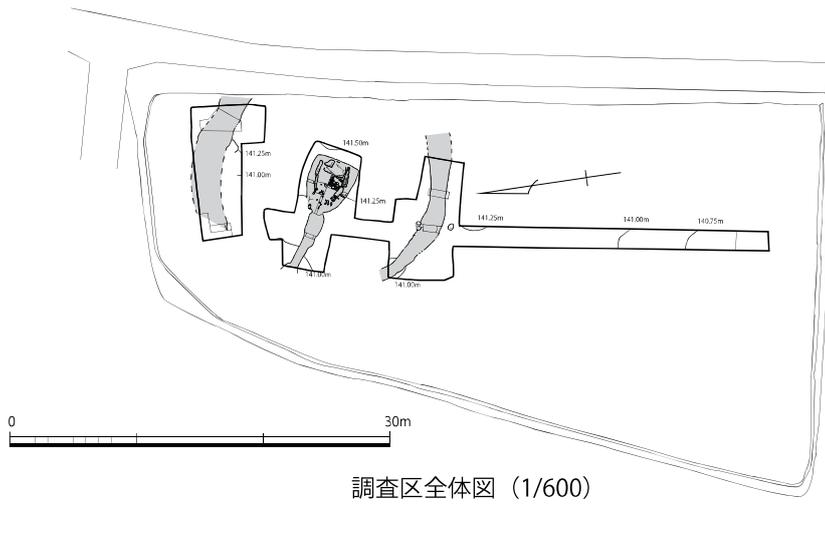
石室・墓道検出状況 (北西から)



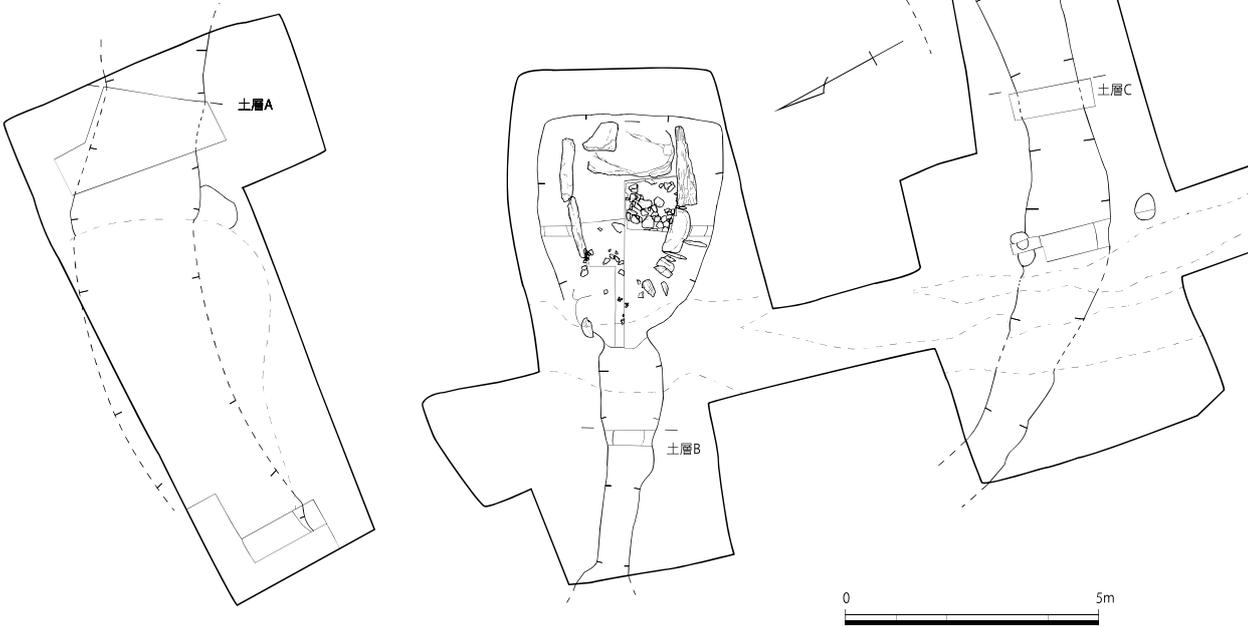
石室掘り下げ状況 (北西から)



周溝検出状況



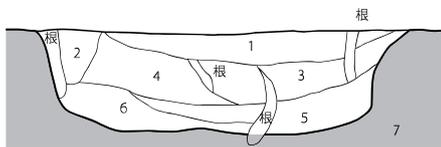
調査区全体図 (1/600)



古墳全体図 (1/150)

土層 A

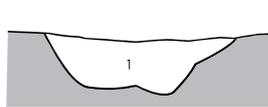
141.60m



1. 暗黒褐色粘質土
2. 暗褐色粘質土
3. 暗褐色粘質土
4. 褐色粘質土
5. 淡褐色粘質土
6. 淡茶褐色粘質土、肩崩落土か
7. 淡黄褐色粘質土 粘性強くしまる、地山か

土層 B

141.30m

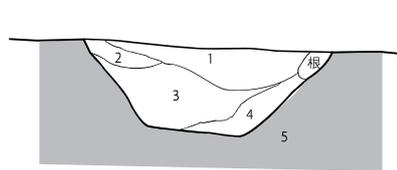


1. 暗褐色粘質土、地山ブロック混



土層 C

141.60m



1. 暗黒褐色粘質土
2. 茶褐色粘質土
3. 暗褐色粘質土、しまり弱い砂質
4. 淡黄褐色粘質土肩の崩落土
5. 黄褐色粘質土 粘性強くしまる、地山

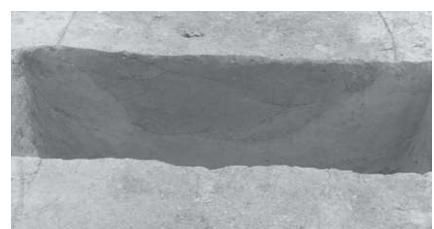
周溝等土層図 (1/40)



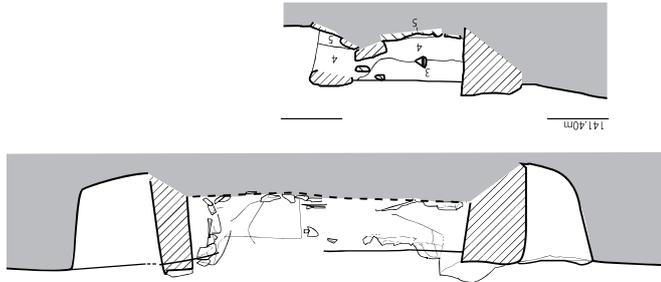
土層 A



土層 B

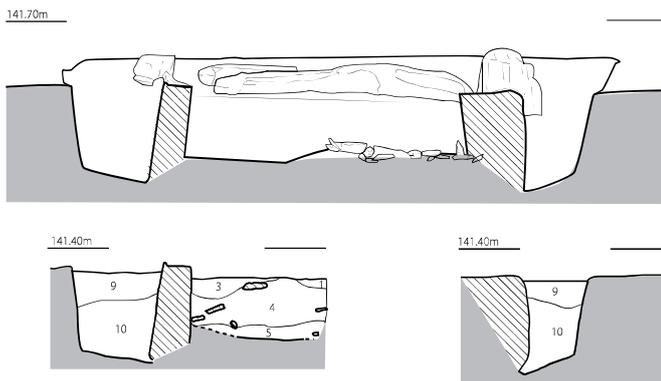
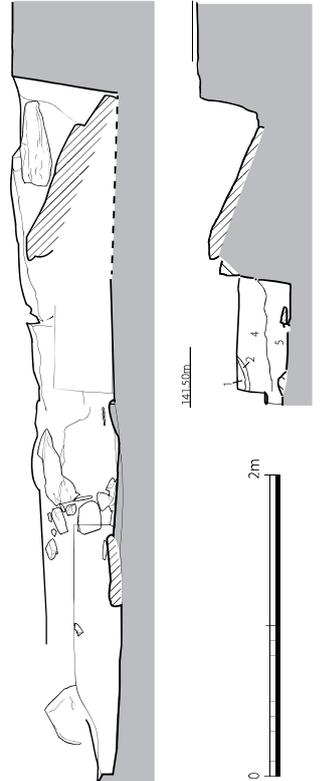
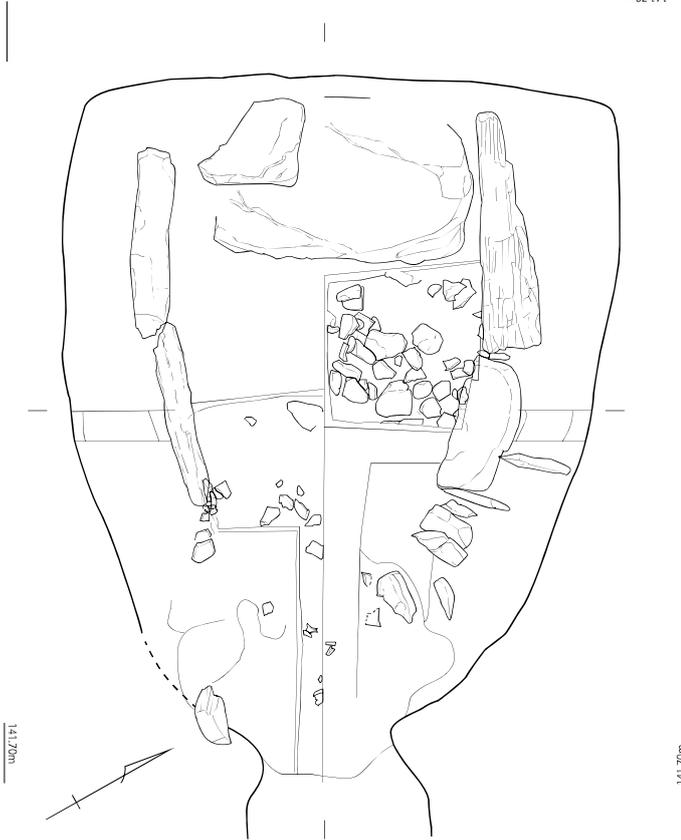
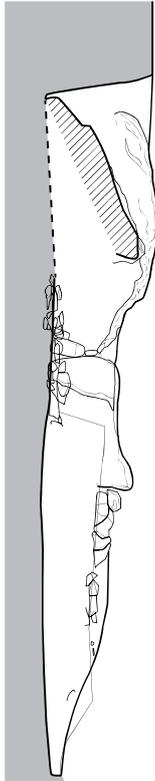
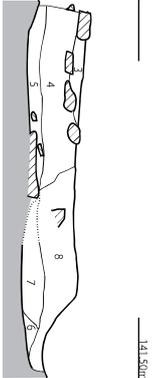


土層 C



石室土層 (東側)

1. 暗褐色粘質土ブロック 粘性強い
 2. 淡黄褐色粘質土ブロック 暗褐色粘質土
 3. 暗褐色粘質土 淡黄褐色ブロック少量含む
 4. 暗褐色粘質土 淡黄褐色粘質土ブロック
 5. 暗褐色粘質土ブロック 暗褐色粘質土ブロック
 6. 淡黄褐色粘質土ブロック 暗褐色粘質土ブロック 粘性強い
 7. 暗褐色粘質土 淡黄褐色粘質土ブロック 粘性強い
 8. 暗褐色粘質土 粘性とても強い
 9. 暗褐色粘質土 粘性強い
 10. 暗褐色粘質土 粘性強い
- ※1～4は石室内の前室土、5床面、6初階時の埋土、7遺葬、8後世のかく乱か、9石室の壁込め



石室実測図 (1 / 50)



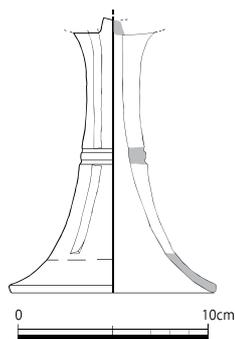
石室土層 (南側)



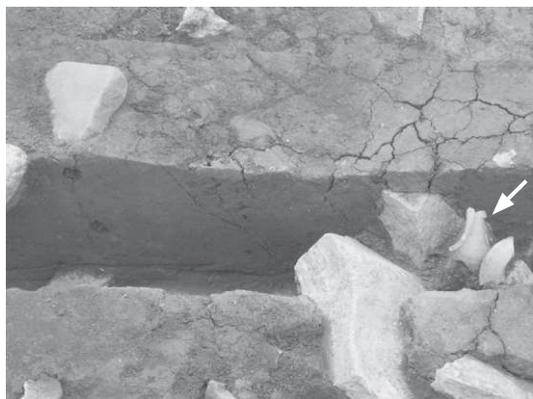
石室掘り下げ状況



石室掘り下げ状況



出土遺物 (1/4)



高坏出土状況



石室掘り下げ状況

9. 日田条里遺跡

- 個人住宅新築に伴う立会調査 -

調査地は、日田盆地中央部、花月川の沖積地の標高約 82 ~ 83 m の場所に位置する。

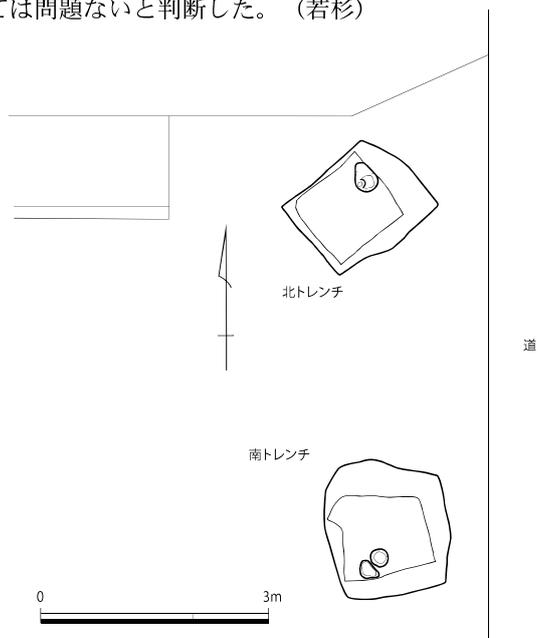
調査は、車庫を建築する部分で、現地表面より 1.2 m の深さの基礎が入る部分の 4 箇所のうち、2 箇所について実施した。

掘り下げの結果、現地表面より約 30 cm 下において、北トレンチからピット 1 個、南トレンチからピット 2 個が検出された。遺構検出面は黄褐色土、埋土は黒褐色を呈していた。規模は径 25 ~ 40 cm を測る。掘り下げを行なった結果、北トレンチのピットは約 50 cm、南トレンチのピットは約 10 cm、約 15 cm を測る。遺物は出土しなかったことから、時期は明確ではないが、埋土の色から中世の可能性もある。

今回の調査で川に近い位置でも微高地には遺構が残っていることが確認できた。なお、残り 2 箇所については、工事の支障になることから、掘り下げは行なわなかったが、遺跡を大きく損なう可能性は低く、工事にあたっては問題ないと判断した。(若杉)



遺跡位置図 (1/2,500)



遺構配置図 (1/100)



北トレンチ完掘 (南から)



南トレンチ完掘 (南西から)

10. 井川遺跡

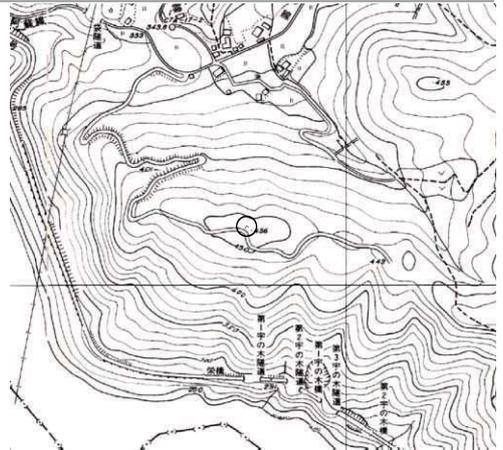
- 携帯無線基地局建設に伴う予備調査 -

井川遺跡は、日田市南部の天瀬町出口に所在する湯見岳南東側に連なる山地頂上部に近い平坦地に位置し、標高は約 450 m を測る。

調査は、鉄塔建設予定地の中に長さ 3.0 m・4.1 m、幅 1 m の L 字形のトレンチを設定して掘り下げを行なった。その結果、暗色帯上層のローム層中より、剥片が出土したため、暗色帯上面まで掘り下げを行い、遺物の包含状況の確認を行なった。その結果、遺物の出土は合わせて 10 点のみであったことから、工事によって遺跡を損なう可能性は低いと判断した。

今回の調査で少量ではあるが遺物が出土したことで、調査地付近が短期間ではあれ、当時の狩猟のルート上にあったことが想定される。

(若杉)

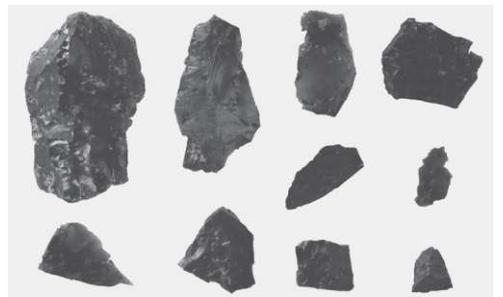


遺跡位置図 (1/12, 500)



土層堆積状況

遺物出土状況



出土遺物

11. 永山布政跡

- 共同住宅建設に伴う予備調査 -

調査地は、日田盆地中央部、花月川の沖積地の標高約 85 ~ 86 m の場所に位置する。

調査は、1・2次調査地の東側に当たる部分を対象に行なった。その結果、近代の整地層及びその下層の地山に掘りこまれた近世の遺構

が確認された。近代の整地層は現地表面より約 50 cm、近世の整地層は約 60 cm 下層にあった。この内、近世の遺構については、永山布政所跡に関する遺構と考えられる。また、近代の整地層の上層には水田層が堆積しており、近世から近代にかけての土地変遷を追うことができる材料となる。永山布政

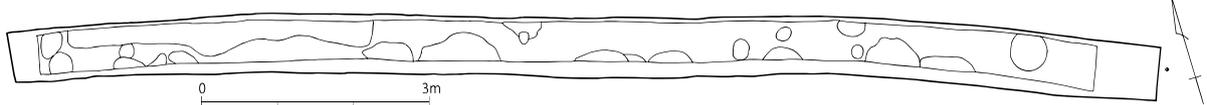
所跡は近世日田の歴史を考える上でも重要な遺跡であり、今後も当該地における開発行為に対して、慎重な対応を行う必要がある。なお、確認された遺構については、工事による掘削が及ばないことから、表面検出のみにとどめ、掘り下げは行っていない。(若杉)



トレンチ完掘状況 (西から)



遺跡位置図 (1/5, 000)



遺構配置図 (1/100)

II 資料紹介

1. 旧大山ふるさと資料館所蔵の考古資料

大山町中大山に所在する旧「ふるさと資料館」は、移設された旧矢羽田家住宅に隣接した文化財普及啓発施設として、平成元年にふるさと創生基金の一部を利用して建設された。この資料館には旧大山町を代表する県指定有形文化財の「烏宿神社鰐口」や市指定有形文化財「森家五部大乘教」のほか、地機、馬引き木馬や野瀬部浄瑠璃といった各種民具などが収蔵展示されていた。このなかでも県指定有形文化財「老松神社銅鉾」や大山小学校校庭より発見された弥生時代の石棺墓のほか、塚ノ本遺跡出土弥生土器や貫見遺跡出土とされる石器類などは、地域の歴史を示す貴重な資料として展示されてきた。しかし、長らく地域の文化財を紹介する施設として活用されてきた「ふるさと資料館」は、大山小中一貫校の建設に伴い平成 25 年度に解体されることとなったため、収蔵物は日田市埋蔵文化財センターなどに移動して収蔵することとした。

これら収蔵物のうち、大山小学校校庭や塚ノ本遺跡の弥生土器などの旧大山町が主体となって実施した発掘調査（予備調査）の報告はこれまでなされてこず、その概要が判然としなかった。そこで、ここでは所蔵資料の紹介を行い、大山小学校校庭遺跡と塚ノ本遺跡の調査内容について説明するものとする。当時の調査記録については、詳細は不明な点も多いが、可能限り報告するものとする。

2 展示資料紹介

『銅鉾』

老松神社の宝物とされる銅鉾で、県の有形文化財に指定されている。全長 70.2cm の中広形態で、弥生時代中期末から後期前半に製作されたものと考えられる。出土地は不明で、箱書によれば筑後方面から奉納されたものとされるが、嘉禄元年（1225）に津江山の住人が金銅鉾 2 枚を掘り出し大宰府安楽寺に言上したとされるうちの 1 枚とも伝えられる。実測図等は大山町史に記載のため、詳細説明は省略。

『貫見遺跡出土石器』

昭和 45 年に関西大学が下笠・松原ダム総合学術調査団として行った発掘調査で、縄文時代早期の押型文土器や前期の轟 B 式土器のほか、石鎌などが出土したとされる。展示遺物は 2 次加工剥片とチップ類と土器片が展示されているが、詳細な記録もなく、そのうちの大半が九州産とは考えにくい黒曜石製と見られることから、貫見遺跡からの出土品とは断定できない。図面や写真等の記録が残っていないため詳細不明。

『石棺』

かつて大山小学校校庭遺跡（現；中川原遺跡）として登録する原因となった遺跡で、昭和 50 年に運動場排水溝工事に伴い発見され、大山町が主体となって発掘調査を行った石棺 2 基のうちの一つ（1 号石棺墓）を移築復元展示したものである。これまでのこの調査についての報告がな



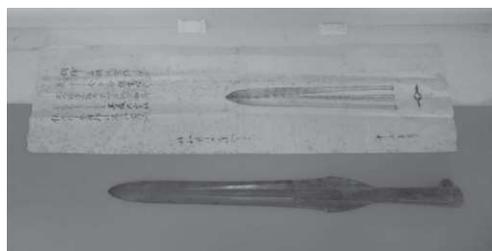
ふるさと資料館外観



ふるさと資料館展示風景



ふるさと資料館展示風景



銅鉾展示状況



貫見遺跡出土遺物

されておらず、概要については大山町史などで触れられている程度である。

『塚ノ本遺跡出土弥生土器』

かつて塚ノ本遺跡（現；中川原遺跡）として紹介されてきた遺跡で、昭和49年に工場敷地基礎工事に伴って実施された試掘立会調査で出土した土器である。中期の須玖式を主体とした約400点に及ぶ弥生土器が出土したとされ、溝状の遺構については環濠の可能性が指摘されている。この出土した弥生土器を展示したもので、弥生時代中期末の甕、壺と後期前半の器台が展示されている。

3. 旧大山町時代の発掘調査

①. 塚ノ本遺跡（現；中川原遺跡）

調査場所：大山町大字西大山字塚ノ本3459-6（A地点）、3460-3（B地点）

調査原因：工場増設による基礎工事に伴う確認調査

調査年月：昭和49年10月28日

調査指導：県文化課後藤宗俊（現別府大学名誉教授）

調査員：町社会教育課山本弘

町文化財調査員川村公男、森山重治、河津健、河津トミ子

大山小 佐藤朝光、宮木かすみ

調査概要：昭和49年9月28日に塚本3459-6地内の工場増築基礎工事中に大量の土器が出土した。このため、当時の町社会教育課担当職員が掘削箇所（A地点）の遺物の取上げと記録を作成のうえ、県文化課と対応に付いて協議を実施した。この結果、過去に近接した箇所の県道工事の際にも弥生土器が出土したと伝えられることや、遺跡の所在を確認し今後の開発に対応する基礎データを得ることが出来ることから、県文化課の協力のもと予備調査を周辺地区で実施することとなった。

調査はA地点に近接し、地元で信仰の対象となっていた小マウンドのある敷地（3460-3）に0.9×1.5mのグリット2箇所（B地点）を設定して掘り下げた。対象地北西の小マウンド上の第1グリットでは、地表面下約1m以上を掘り下げ、夥しい河原石の堆積内に近代遺物と弥生土器片の混入を確認したことから、この小マウンドは近代のものと断定された。第2グリットからは水田耕作土下の黒褐色ないし黄褐色の土層中に礫が入った溝状の遺構が検出された。この第2グリットからは袋状口縁壺の破片などが出土した。30m程離れた工事に伴う掘削箇所（A地点）からも大量の弥生土器片が出土しており、弥生集落などの密集した遺跡群であったことが予測される。

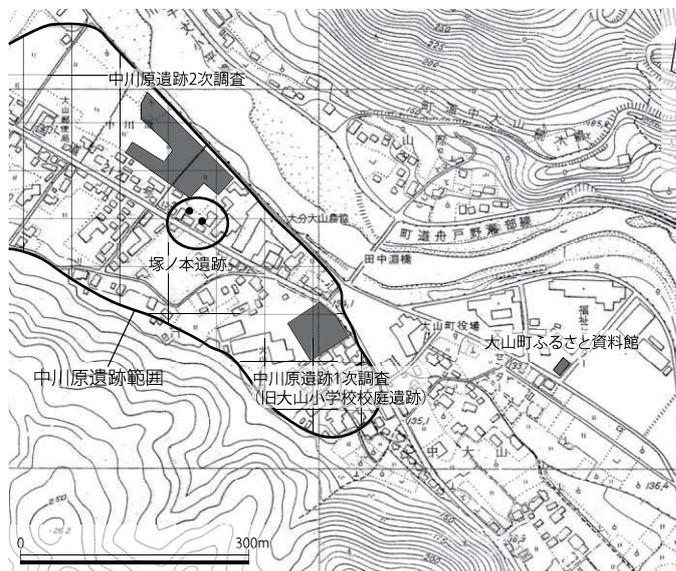
出土遺物についての詳細な記録は今後に委ね、今回は展示遺物のなかでも代表的な遺物を紹介するものとする。1～4はA地点からの出土遺物である、1は甕で跳ね上げ口縁部の特徴をもつ。2は広口壺の口縁部で鋤先状口縁部



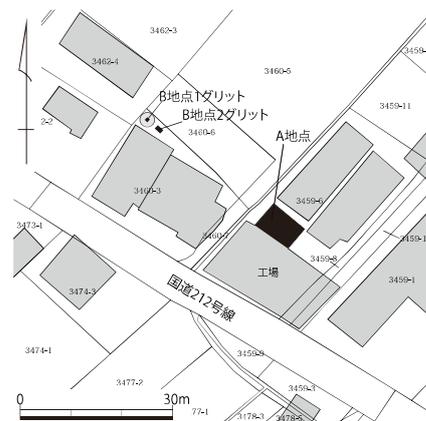
大山小学校校庭遺跡出土石棺墓（1号墓）



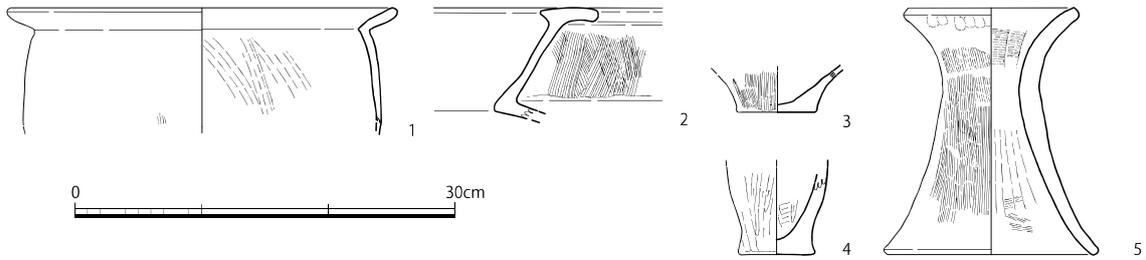
塚ノ本遺跡出土土器



ふるさと資料館と大山町の遺跡（1/10,000）



塚ノ本遺跡位置図（1/1,500）



塚ノ本遺跡出土土器実測図 (1/6)

を有し、器壁外面に丹塗りが施される。3は壺の底部で、4は壺或いはミニチュア土器か。これらは何れも須玖Ⅱ式の新段階の特徴を有している。しかし、写真に見られるように、A地点の出土遺物と考えられる複合口縁壺の破片は後期前半の特徴を有し、同様にB地点第2グリット出土の袋状口縁壺は中期末から後期初頭頃の特徴を持つことから、これらのA・B地点一帯の遺構は中期末から後期前半代の遺構と想定されよう。5は国道212号線拡幅工事の際に出土したと伝えられる器台で、後期前半代と想定される。

この調査記録では規模や遺構の詳細は不明であるが、第2グリットの溝状遺構が環濠集落の可能性があ

ることを調査指導者の後藤宗俊氏は指摘している。また、平成18年度の圃場整備に伴う中川原遺跡2次調査では、弥生時代後期から古墳時代前期の130軒以上の竪穴建物と南側の集落境に幅7～8mの大型溝の存在が確認されている。溝状の遺構が中川原遺跡2次調査の溝に繋がるものかは不明であるが、少なくともこの一帯に弥生時代中期から古墳時代前期にかけての大規模な集落が所在していたものと考えられる。

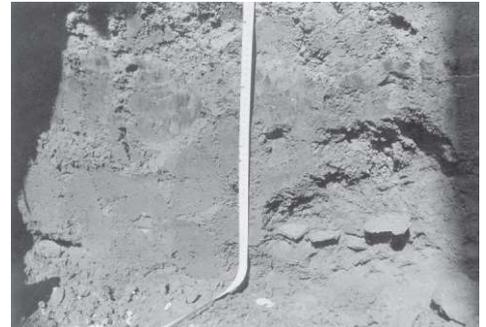
②. 大山小学校校庭遺跡 (現; 中川原遺跡)

調査場所: 大山町大字西大山 3494-1 大山小学校運動場

調査原因: 運動場内排水溝工事



A地点調査風景



A地点土層と遺物出土状況



A地点出土遺物



B地点1グリット調査風景



B地点1グリット調査風景



A・B地点出土土器



小学校校庭遺跡作業風景

調査年月：昭和 50 年 11 月 10 日～ 12 日

調査指導：大分県文化課 後藤宗俊、渋谷忠章

調査員：町社会教育課矢野大典、原 説丸、石丸邦夫

調査概要：昭和 50 年 10 月 24 日に大山小学校内のグラウンドに排水溝を掘る作業中に発見され、町社会教育課担当職員が現状保存のうえで県文化課と協議したところ、県文化課指導のもと発掘調査を実施することとなった。調査は発見された 2 基の石棺を中心に広げているものの、全体図及び位置図の詳細が不明であるが、石棺墓の実測図があるため、詳細の実測図が残る石棺墓について説明する。

1 号石棺墓は頭位を西にとり、主体部内規模で長軸約 1.6 m、短軸約 40cm、深さ約 30cm を測る箱式石棺墓である。蓋石は鎧重ねで、頭位部分の蓋石は残っていなかった。主体部からは下顎と大腿骨などの出土が見られたが、その所在は不明である。2 号石棺墓はグラウンドから 40cm 下で検出され、蓋石は残存していない。主体部内規模で長軸約 1.4 m、短軸約 30cm、深さ約 25cm を測る。遺物の出土は見られなかった。

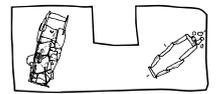
これらの石棺は調査後に取上げられたものと考えられ、そのうちの一部が資料館に展示されていたものと思われる。平成 17 年度の大山小学校校庭内の排水設備設置に伴う発掘調査（中川原遺跡）では、昭和 50 年の調査に伴う掘削痕と考えられる墓壙が確認されたほか、弥生時代の石棺墓 2 基と木棺墓 1 基、土壙墓 3 基を確認している。この調査がトレンチ調査であることを考えると墳墓群の基数はさらに増えるものと考えられることから、この小学校一帯が先の旧塚ノ本遺跡一帯の集落遺跡に伴う墳墓群であった可能性は高いであろう。（渡邊）



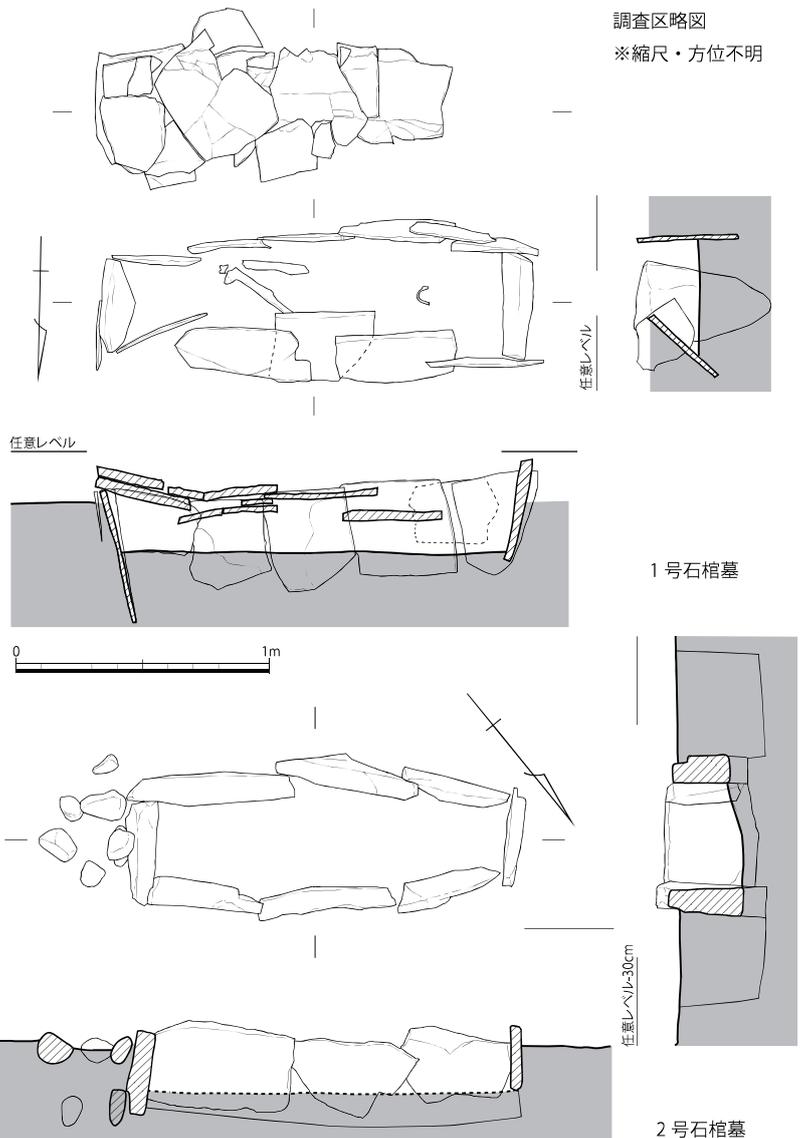
2号石棺墓



1号石棺墓



調査区略図
※縮尺・方位不明



中川原遺跡調査区全景（平成 17 年度）

1・2号石棺墓実測図（1/30）

Ⅲ 平成 25 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

(1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成 15 年度より普及啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、今年度は発掘調査速報展及び市民を対象とした考古学講座、体験教室、特別展示などを実施した。

1. 平成 24 年度埋蔵文化財発掘調査速報展(6 月 21 日～ 8 月 30 日)

平成 24 年度に市内で行った発掘調査の成果を市民にいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市外からも含めて 146 人の来館者があった。

○埋蔵文化財センター見学者数

月	総見学者数	団体	個人	備考
4 月	36	30	6	
5 月	64	53	11	
6 月	36	0	36	速報展 (6/21～8/30) 見学者数 146 名
7 月	26	0	26	
8 月	125	84	41	
9 月	25	17	8	
10 月	35	17	18	
11 月	34	33	1	
12 月	3	0	3	
1 月	93	90	3	
2 月	2	0	2	
3 月	4	0	4	
計	483	324	159	

【主な来訪団体】

まほろばの会 (6 名: 4 月) 勾玉作り教室 (40 名: 8 月)
 小野公民館 (24 名: 4 月) 考古学講座第 4 講 (17 名: 9 月)
 市立桂林小学校 (53 名: 5 月) 西有田わんぱく教室 (17 名: 10 月)
 考古学講座第 3 講 (44 名: 8 月) 市立石井小学校 (33 名: 11 月)
 光岡小学校 (90 名: 1 月)



速報展展示風景



常設展見学風景 (石井小学校)

Ⅲ埋蔵文化財
普及・啓発事業

2. 考古学講座「タイムトリップひた Vol.11」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために市内外から講師を招待し、全 5 回の講座を実施した。

月日	回数	内容	講師	受講人数
613	第 1 講	「歴史考古学から見た淡窓・咸宜園」(公開講座)	別府大学名誉教授 後藤 宗俊 氏	80
720	第 2 講	「淡窓先生の歩んだ道 長崎街道篇」バスツアー	大村市教育委員会 今村 明 氏	43
818	第 3 講	「廣瀬淡窓と石人と岩戸山古墳」	八女市教育委員会 大塚 恵治 氏	44
914	第 4 講	「廣瀬淡窓と帰安碑と横穴墓」	日田市教育委員会 若杉 竜太	43
1026 1027	第 5 講	「淡窓先生の歩んだ道 竹田・白杵・佐伯篇」バスツアー	竹田市教育委員会 佐伯 治 氏	31



考古学講座第 1 講 (公開講座)



第 2 講風景



第 3 講風景



第 5 講バスツアー風景

3. 体験教室

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・発掘体験・整理作業見学・展示見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。

月日	団体名	内容	場所	参加人数
425	小野公民館	日田市の遺跡の話、展示室見学、 ガランドヤ古墳の見学	埋蔵文化財センター 一ほか	24
514	桂林小学校	展示見学、考古の話、現地見学	埋蔵文化財センター ー	53
804	勾玉作り教室	勾玉づくり	埋蔵文化財センター ー	40
105	西有田公民館わんぱく教室	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター ー	17
1027	光岡ふれあいまつり	勾玉づくり	光岡小学校	25
1115	石井小学校	展示見学	埋蔵文化財センター ー	33
123	光岡小学校	展示見学、考古の話、火熾し体験	埋蔵文化財センター ー	90



勾玉作り教室



西有田公民館（展示見学）



光岡小学校（火熾し）

（2）普及啓発事業

遺跡の調査・整備内容を広く市民に公開する為、現地説明会、講師の派遣、史跡を紹介するための展示会・講演会および地域巡回展及び調査報告書等の刊行物の作成などを行った。

1. 現地説明会

史跡ガランドヤ古墳整備工事現場公開

開催日：平成 25 年 2 月 8 日（土） 場 所：ガランドヤ古墳 参加者：42 人

内 容：平成 25 年度より着手したガランドヤ古墳 1 号墳の装飾を保護するための保護施設建設工事の進捗状況と整備手法などを周知するために、工事現場見学会を開催した。現場公開には地元の方々を始め多くの人々が参加した。



2. 講師派遣・依頼

講師の依頼件数は考古学講座に伴う依頼は5件、派遣は16件であった。

月日	区分	派遣・依頼先	内容	講師	参加人数
517	派遣	いつま小学校	宇土古墳見学	上原、武内	21
529	派遣	若宮小学校	日田市で発掘された土器を中心とした古代の話	渡邊、武内	28
605	派遣	三芳小学校	三芳近辺の古墳見学	渡邊、武内	70
613	依頼	別府大学	考古学講座第1講 歴史考古学から見た淡窓・咸宜園	別府大学名誉教授 後藤 宗俊 氏	80
627	派遣	東有田公民館	ふれあい宅配講座「日田の遺跡について」～東有田の古代から江戸時代前～	行時、武内	13
701	派遣	高瀬公民館	考古の話	渡邊、武内	37
705	派遣	高瀬公民館	高瀬地区の史跡	若杉、武内	38
720	依頼	大村市教育委員会	考古学講座第2講淡窓先生の歩んだ道 長崎街道（バスツアー）	大村市教育委員会 今村 明 氏	43
818	依頼	八女市教育委員会	考古学講座第3講廣瀬淡窓と石人と岩戸山古墳	八女市教育委員会 大塚 恵治 氏	44
911	派遣	五和公民館	ジュニアガイド育成に伴う五和地区の史跡等の解説	渡邊	6
920	派遣	石井町2丁目住民	長者原遺跡・穴観音古墳・ガランドヤ古墳・原の長者伝説と五和地区の歴史	渡邊	6
928	派遣	三芳公民館	ふれあい宅配講座「日田の遺跡について」～元宮神社の現地説明と三芳地区の遺跡についての話	若杉、行時	19
1008	派遣	古代朝鮮文化を考える会	求来里遺跡について	若杉	30
1027	派遣	光岡ふれあいまつり	勾玉作り	渡邊	31
1027 1028	依頼	竹田・佐伯・白杵市教育委員会	考古学講座第5講 淡窓先生の歩んだ道 竹田・佐伯・白杵（バスツアー）1泊2日	竹田市教育委員会 佐伯 治 氏	31
1204	派遣	五和公民館	五和地区歴史年表作成に伴う質疑応答	渡邊	5
221	派遣	石井小学校	穴観音古墳、ガランドヤ古墳説明	渡邊、武内	33



五和公民館 (0911)



五和公民館 (1204)



古代朝鮮文化を考える会



三芳公民館



日田考古学同好会



石井町2丁目

3、指定記念展示及び講演会等

国史跡「廣瀬淡窓旧宅及び墓」指定記念行事【～淡窓に二度会える～】

平成 25 年 3 月 27 日に追加指定及び名称変更となった「廣瀬淡窓旧宅及び墓」の指定記念行事を実施した。廣瀬淡窓旧宅は、日田市豆田町 116 番地ほかにあり、文化 14 年（1817）に私塾咸宜園を開塾し、全国からおよそ 5 千人の門下生を輩出した教育者廣瀬淡窓の生家である。この淡窓の業績及び当時の建物などが現存する廣瀬家を広く周知するために、記念展示会及び講演会、関連企画及び巡回展示などを実施した。

①行事名：史跡指定記念「廣瀬淡窓旧宅」展

会 場：廣瀬資料館 1 号館

時 期：平成 25 年 6 月 13 日（木）～平成 26 年 1 月 31 日（金）

開 館：午前 9 時～午後 4 時 ※休館日 月曜

展 示 内 容：淡窓コーナー ①淡窓愛用の硯・水滴・文鎮・筆置き・筆洗
②襦 ③落款 ④屏風 ⑤懐旧楼筆記

廣瀬家コーナー ①久兵衛火事羽織・陣笠・太刀・久兵衛日記
②月化俳句集

能楽コーナー ①木幡家史料（※竹田市立歴史資料館蔵）、②久兵衛日記

茶コーナー ①本家日記（秋月） ②茶稽古入門姓名録（竹田） ③茶器（対馬）

その他、華コーナー、新座敷コーナー など

入 場 料：大人 450 円 小人 350 円 （20 人以上の団体 400 円）

期間中入場者：5,296 名



記念展示

②行事名「国史跡「廣瀬淡窓旧宅及び墓」指定記念巡回展『淡窓生家と廣瀬家展』」

※入場無料

a パトリア日田ギャラリー

平成 25 年 6 月 13 日（木）～6 月 26 日（水）午前 9 時～午後 4 時

※休館日は 6 月 17 日（月）

期間中入場者：321 名

b 宇佐市民図書館渡網記念ギャラリー

平成 25 年 7 月 2 日（火）～7 月 28 日（日） 午前 10 時～午後 6 時

※休館日は 7 月 8・16・22 日（月）

期間中入場者：600 名

c iichiko 総合文化センター（アトリウムプラザ）

平成 25 年 8 月 10 日（土）～11 日（日）午前 9 時～午後 10 時

期間中入場者：45 名

d 別府大学附属博物館

平成 25 年 9 月 22 日（日）～10 月 4 日（金）午前 9 時～午後 5 時

期間中入場者：350 名

e 大分空港 2 階ロビー

平成 25 年 10 月 5 日（土）～11 月 9 日（土）午前 7 時～午後 8 時



パトリア日田ギャラリー



アトリウムプラザ



別府大学

期間中入場者：758名

f 豊後高田市立図書館

平成25年11月10日(日)～12月7日(土) 平日 午前10時30分～午後7時 土・日 午前8時30分～午後8時※休館日は期間中の火曜日

期間中入場者：238名

g 九州国立博物館

平成26年1月15日(水)～1月26日(日)

期間中入場者：1,528名

③行事名：国史跡「廣瀬淡窓旧宅及び墓」指定記念講演会

会場：パトリア日田小ホール「せせらぎ」

時期：平成25年6月13日(木) 午後2時～4時

内容：基調講演① 「日田の歴史に見る廣瀬淡窓」

別府大学学長 豊田寛三氏

基調講演② 「廣瀬淡窓旧宅に見る史跡の指定と新たな取組」

文化庁記念物課主任調査官 佐藤正知氏

パネルディスカッション 「先哲・文化財に見る“ふるさと”の明日」

パネラー：別府大学学長；豊田寛三氏、別府大学名誉教授；後藤宗俊氏

岡山理科大学教授；江面嗣人氏、文化庁記念物課主任調査官；佐藤正知氏、廣瀬本家第11世当主；廣瀬貞雄氏

コーディネーター：大分県立先哲史料館館長；佐藤晃洋氏

入場者数：240名(内小学生90名)※入場無料



大分空港ロビー



九州国立博物館ロビー



記念公演

④関連行事等

a 考古学講座「歴史考古学から見た淡窓・咸宜園」

主催：日田市教育委員会(文化財保護課)

会場：パトリア日田小ホール「せせらぎ」

時期：平成25年6月13日(木) 午後7時～

講師：別府大学名誉教授 後藤宗俊

入場者数：80名※文化財保護課が実施する平成25年度考古学講座の一環として実施、入場無料



パネルディスカッション

b 「淡窓と考古学」展 兼 「平成24年度埋蔵文化財発掘調査速報展」

主催：日田市教育委員会(文化財保護課)

会場：日田市埋蔵文化財センター

時期：平成25年6月21日(金)～8月30日(金)

開館：午前9時～午後4時00分 ※休館日は土・日・祝日ただし、6月22日(土)、23日(日)は開館

期間中入場者：146名※入場無料

c 「廣瀬淡窓旧宅と咸宜園」展

主催：日田市教育委員会(咸宜園教育研究センター)



淡窓と考古学展

埋蔵文化財
普及・啓発事業

会 場：咸宜園教育研究センター
 時 期：平成 25 年 6 月 13 日（木）～ 7 月 30 日（火）
 開 館：午前 9 時～午後 4 時 30 分 休館日は期間中の水曜
 期間中入場者：1,392 名※入場無料

d「企画展 廣瀬淡窓と生家」

主 催：大分県教育委員会（大分県立先哲史料館）
 会 場：大分県立先哲史料館
 時 期：平成 25 年 7 月 2 日（火）～ 10 月 6 日（日）
 開 館：平日 午前 9 時～午後 8 時 土・日・祝日 午前 9 時～午後 5 時 ※休館日は第 1・3・5 月曜
 期間中入場者：7,240 名※入場無料

主 催：廣瀬本家・公益財団法人廣瀬資料館・廣瀬淡窓旧宅指定記念展示会実行委員会
 共 催：九州国立博物館・別府大学
 後 援：大分県教育委員会・日田市教育委員会・宇佐市教育委員会・豊後高田市教育委員会

4、刊行物

遺跡の調査報告書を 5 冊作成し、平成 24 年度の埋蔵文化財調査年報を作成した。また、市内小学 6 年生を対象に配布する『子ども版歴史と文化財』および DVD の作成を行った。

	書名	巻次	体裁	総頁	内容
1	平成 24 年度（2012 年度）日田市埋蔵文化財年報	-	A4	31	平成 24 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、文化財保護事業、普及啓発事業などを所収。
2	朝日の遺跡Ⅱ	111	A4	55	圃場整備に伴う文化財調査の成果を所収。鍛冶屋遺跡では、弥生時代後期の遺構、本村遺跡 5 次では 6 世紀代の竪穴建物と溝跡などが出土した。
3	鍛冶屋廻り遺跡 2 次・本村遺跡 5 次の調査 吹上遺跡	112	A4	106	重要遺跡確認調査等を実施した発掘調査の自然科学分析の成果及び総括を所収。
4	慈眼山遺跡 10 次	113	A4	18	放課後児童クラブ建設に伴う文化財調査の成果を所収。15 世紀後半～ 16 世紀後半にかけての集落を確認。
5	赤迫遺跡 G 区・元宮遺跡 1・2・6 次	114	A4	66	台風災害の風倒木処理と土砂採取工事等に伴う文化財調査の成果を所収。赤迫遺跡では古墳時代の墳墓 6 基、元宮遺跡では弥生時代後期の甕棺墓や石棺墓などの墳墓 7 基が確認された。
6	長迫遺跡 B 地点	115	A4	80	ウッドコンビナート建設に伴う文化財調査の成果を所収。調査では古墳時代から古代の竪穴建物 42 軒等を確認。
-	子ども版 日田市の歴史と文化財	-	A4	114	日田市に所在する文化財等を小学生等に紹介するための文化財図録。
-	日田市の歴史と文化財 DVD	-	DVD	-	市内の主要文化財をゆるキャラ“たんそうさん”が紹介する DVD。各学校区の文化財紹介や古代火おこしや勾玉作りなどの映像も所収。

(3) 埋蔵文化財の保存整備

1. 重要文化財大分県吹上遺跡出土品の保存修理

事業は、紀元前 2 世紀から 1 世紀頃にあたる弥生時代中期後半の日田地方の有力者の墳墓群の副葬品である重要文化財「大分県吹上遺跡出土品（平成 22 年 6 月 29 日指定）」577 点の修理を 8 年に亘って計画的に行うものである。平成 23・24 年度に引き続き、平成 25 年度は 4 号甕棺墓出土ゴホウラ貝輪（15 点）、1 号甕棺下甕（1 点）の計 16 点の修理作業を実施した。

4 号甕棺墓出土のゴホウラ製貝輪は、甕棺内部で雨水の侵食を繰り返していたため、欠損しているものが多く、表面や破損面の風化が著しく、非常にもろい状態であった。また、1 号甕棺下甕は、器壁表面が風化によりもろい状態で、復元でも少し歪みが生じていた。そこで、国庫補助事業及び公益財団法人住友

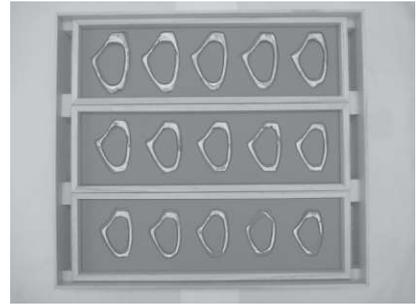


1 号甕棺下甕

財団の助成（ゴホウラ貝輪のみ）を受けて修理作業を行った。作業には（株）東都文化財保存研究所があたった。

ゴホウラ貝輪は全体のもろさを補うため、アクリル樹脂溶液を滴下させて強度を増し、特にもろい部分にはエポキシ樹脂を充填して補強した。甕棺は一旦解体した後アクリル樹脂溶液により強化を図り、接合と復元を行った。また、安定的な保管のために必要な専用の桐箱を作成し、ゴホウラ貝輪と甕棺の形状に合わせて収納し、そのまま展示できるものとした。

以上の作業の結果、従来の不安定な状態は大幅に改善された。今後は安定化の状態を見ながら、展示等への活用を図っていく予定である。



ゴホウラ貝輪

2. 史跡ガランドヤ古墳の保存整備

国指定史跡ガランドヤ古墳1号墳の装飾を保護するための躯体建設工事を実施した。躯体は可逆性と上部盛土を考慮してプレキャスト・プレストレストコンクリートにて建設した。工事期間は平成25年8月9日から平成26年3月15日。平成26年度には上部に保護盛土工事を実施する予定。

3. 史跡咸宜園跡の保存整備

約5千人の門下生を輩出した私塾咸宜園跡で平成21年度より実施してきた東塾整備の最終年度にあたり、今年度は板塀整備工事や招隠洞等の遺構表示などを実施した。遺構等整備工事は平成25年12月27日から平成26年3月20日まで実施し、板塀整備工事は平成25年12月27日から平成26年3月15日まで実施。

4. 史跡小迫辻原遺跡の公有化

弥生時代後期から古墳時代初頭頃の豪族居館とされる国指定史跡小迫辻原遺跡の公有化を実施した。平成23年度より4ヵ年をかけて実施してきた公有化事業の最終年度で、指定面積81,926.36㎡のうち、98.1%の公有化が完了した。

5. 史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓の保存管理計画策定

文化14年（1817）に私塾咸宜園を開塾し、全国からおよそ5千人の門下生を輩出した教育者廣瀬淡窓の生家である旧宅の土地利用や建物の修理などの統一的な方針や基準を作成するために、平成25年度より2ヵ年の計画で策定する保存管理計画作成の一年目。方針等について2回の委員会を開催した。



ガランドヤ古墳保護施設



ガランドヤ古墳保護施設



咸宜園跡の保存整備

(4) その他（資料掲載、貸出・閲覧・受領図書）

今年度、埋蔵文化財関連資料の掲載依頼は5件、貸出は2件で資料の閲覧は4件であった。

1、掲載申請

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0426	申請	平成24年度刊行報告書及び平成25年度日田市埋蔵文化財年報データ	日田インターネット協議会	ホームページ掲載
0924	申請	吹上遺跡6次調査4号甕棺墓出土銅戈白黒写真（申請者撮影）	柳田康雄	出版本掲載のため
1003	申請	小迫辻原遺跡の空中写真、豪族居館跡写真、復元模型写真	(有)三猿舎	出版本掲載のため
1011	申請	日隈城虎口石垣の写真	(株)グレイル	出版本掲載のため
1205	申請	石井神社銅矛写真、木造薬師三尊像写真	KCV コミュニケーションズ(株)	番組放送掲載のため

2、資料貸出

0626	貸出	吹上遺跡6次調査 2号甕棺銅戈1、4号甕棺墓銅戈1・鉄剣1・勾玉1点・ 管玉250点・ゴホウラ製貝輪（レプリカ）15点、5号甕棺墓イモ貝製貝輪 17点・勾玉1点・甕棺1点、1号木棺墓銅剣1点	大分県立歴史博物館	常設展示に使用するため
0319	貸出	宇土遺跡 投弾2点	大分県立歴史博物館	常設展示に使用するため

3、資料閲覧

期間	資料名	内容	申請者	目的
0818	朝日天神山古墳2号墳6トレンチ出 土石製品、伝1号墳出土石枕	実見・写真・スケッチ	八女市教育委員会文化課 大塚恵治氏	調査研究のため
0924～ 26	平草遺跡・宇土遺跡・五馬大坪遺跡・ 高瀬Ⅲ遺跡・亀石山遺跡出土石器	実見・写真・実測・計測・ メモ	鹿児島大学埋蔵文化財調査センター 寒川朋枝氏	調査研究のため
1024	吹上遺跡6次調査出土勾玉・ガラス 管玉	熟覧・計測・メモ写真撮影	九州大学大学院比較社会文化学府基層構造講座 谷澤亜里氏	調査研究のため
1209	吹上遺跡6次調査4・5号甕棺墓	熟覧・計測・メモ写真撮影	九州国立博物館 志賀智史氏	調査研究のため

4、図書の収蔵

①平成25年度に各団体から寄贈を受けた図書

総数 697 冊。（内訳：文化財機関 15 冊、大学 51 冊、博物館 42 冊、都道府県教育委員会 119 冊、市町村教育委員会 441 冊、その他 28 冊、個人 1 冊）

②平成25年度購入図書

総数 35 冊



日田市

平成25年度（2013年）
日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成26年7月18日
編集 日田市埋蔵文化財センター
日田市教育庁文化財保護課
〒877-0077
大分県日田市南友田町516-1
TEL 0973-24-7171
発行 日田市教育委員会
〒877-8601
大分県日田市田島2-6-1
TEL 0973-23-3111
印刷 カワハラ企画